

令和3年度

事業報告書
決算報告書

公益財団法人 広島市みどり生きもの協会

目 次

第1 事業報告書

1	設立目的及び概況	1
2	役員等の状況	2
3	理事会等の開催	4
4	定款の変更	4
5	職員の状況	5
6	事業の実施状況	6
7	事業報告の附属明細書	58

第2 決算報告書

1	貸借対照表	59
2	貸借対照表内訳表	61
3	正味財産増減計算書	62
4	正味財産増減計算書内訳表	66
5	財務諸表に対する注記	70
6	附属明細書	72
7	財産目録	73

事 業 報 告 書

第1 事業報告書

令和3年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告書 (令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 設立目的及び概況

(1) 設立目的

緑のまちづくりの事業及び公園に関する事業を通して、ゆとりとやすらぎのある緑豊かな都市環境の形成及び市民の心身の健全な発達を図るとともに、生物多様性の保全に貢献し、もって公共の福祉の増進に寄与することを目的とする。

(2) 概況

ア 設立年月日

昭和51年10月1日 財団法人広島市公園協会として設立

平成11年 4月1日 財団法人広島市動物園協会と統合

平成24年 4月1日 公益財団法人へ移行し、公益財団法人広島市みどり生きもの協会に名称変更

イ 基本財産

設立当初、基本財産は1,000万円（全額広島市出資）であったが、平成11年4月1日財団法人広島市動物園協会との統合に伴い、同財団から1,200万円を寄附受領し、また、広島市から9,000万円の追加出資があったことにより、現在の基本財産は、1億1,200万円（うち広島市出資1億円）である。

ウ 実施事業

- (ア) 緑化思想の普及啓発、民有地の緑化等緑のまちづくりの推進
- (イ) 広島市が設置する公園及び公園施設の管理運営及び利用の促進
- (ウ) 広島市が設置する動物公園、植物公園及び昆虫館の管理運営及び利用の促進
- (エ) 生きものに関する調査研究、教育及び普及啓発
- (オ) 前各号に関する附帯事業の運営
- (カ) その他この法人の目的を達成するために必要な事業

2 役員等の状況

(1) 役員等の人数

理 事 長	1 人
専務理事	1 人
常務理事	2 人
理 事	1 1 人
監 事	2 人
評 議 員	1 2 人

(2) 理事・監事

ア 事業年度中の理事・監事の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役職	氏名	異動内容
令和 3 年 4 月 1 日	常務理事	工藤 昭利	就任
	理 事	久保田 祐徳	就任
令和 3 年 6 月 14 日	専務理事	堀 敬輔	重任
	常務理事	工藤 昭利	重任
	理 事	石田 源次郎	重任
	理 事	金子 和泰	重任
	理 事	久保田 祐徳	重任
	理 事	高橋 博	重任
	理 事	竹下 俊治	重任
	理 事	中越 信和	重任
	理 事	中原 裕子	重任
	理 事	松本 幸雄	重任
	理 事	宮崎 智三	重任
	理 事	山口 富美夫	重任
	理 事	渡邊 一雄	重任

イ 令和 4 年 3 月 31 日現在の理事・監事は、次のとおりである。

役職	氏名	就任年月日
理 事 長	及川 享	令和 2 年 4 月 1 日
専務理事	堀 敬輔	令和 2 年 4 月 1 日
常務理事	工藤 昭利	令和 3 年 4 月 1 日
常務理事	南 心司	平成 27 年 4 月 1 日
理 事	石田 源次郎	平成 24 年 4 月 1 日
理 事	金子 和泰	平成 31 年 3 月 28 日
理 事	久保田 祐徳	令和 3 年 4 月 1 日
理 事	高橋 博	令和 2 年 9 月 1 日
理 事	竹下 俊治	令和 元年 6 月 12 日

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
理 事	中 越 信 和	平成 17 年 7 月 1 日
理 事	中 原 裕 子	平成 27 年 6 月 10 日
理 事	松 本 幸 雄	平成 21 年 7 月 1 日
理 事	宮 崎 智 三	平成 29 年 3 月 28 日
理 事	山 口 富 美 夫	令和 元 年 6 月 12 日
理 事	渡 邊 一 雄	平成 17 年 7 月 1 日
監 事	神 田 敏 治	平成 19 年 7 月 1 日
監 事	久 光 章	平成 30 年 4 月 1 日

(3) 評議員

ア 事業年度中の評議員の異動は、次のとおりである。

異動年月日	役 職	氏 名	異動内容
令和 3 年 6 月 14 日	評議員	竹澤 寿幸	辞 任
	評議員	田村 慶一	就 任

イ 令和 4 年 3 月 31 日現在の評議員は、次のとおりである。

役 職	氏 名	就 任 年 月 日
評議員	大橋 啓一	平成 28 年 6 月 9 日
評議員	尾楠 美代子	平成 26 年 3 月 27 日
評議員	眞宅 成光	平成 24 年 4 月 1 日
評議員	田邊 朋子	平成 29 年 6 月 14 日
評議員	田村 慶一	令和 3 年 6 月 14 日
評議員	富川 久美子	平成 28 年 6 月 9 日
評議員	中島 昌子	平成 24 年 4 月 1 日
評議員	中坪 孝之	平成 24 年 4 月 1 日
評議員	福田 博	平成 30 年 6 月 14 日
評議員	藤井 敏男	平成 24 年 4 月 1 日
評議員	山岡 裕幸	平成 29 年 6 月 14 日
評議員	吉田 幸	平成 30 年 6 月 14 日

3 理事会等の開催

(1) 理事会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
令和3年4月1日 (決議の省略)	令和3年度 第 1 回	1 常務理事の選定の決議について	選 定
令和3年5月25日 (決議及び報告 の省略)	令和3年度 第 2 回	1 令和2年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告及び決算報告について 2 令和2年度における職員の職務に係る倫理の保持に関する状況及び職員の職務に係る倫理の保持に関して講じた施策に関する報告について	承 認 終 了
令和3年6月4日 (決議の省略)	令和3年度 第 3 回	1 令和3年度第1回評議員会の招集の取りやめについて	原案可決
令和3年6月14日 (決議の省略)	令和3年度 第 4 回	1 専務理事の選定の決議について 2 常務理事の選定の決議について	選 定 選 定
令和4年3月3日 (決議の省略)	令和3年度 第 5 回	1 令和3年度第2回評議員会の招集について	原案可決
令和4年3月29日	令和3年度 第 6 回	1 令和4年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び収支予算について 2 令和4年度第1回評議員会の招集について 3 理事長、専務理事及び常務理事の自己の職務の執行状況の報告について	承 認 原案可決 終 了

(2) 評議員会

開催年月日	開催回数	付 議 事 項	審議結果
令和3年6月14日 (決議及び報告 の省略)	令和3年度 第 1 回	1 令和2年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告について 2 評議員の選任の決議について 3 理事の選任の決議について 4 令和2年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業報告について	承 認 選 任 選 任 終 了
令和4年3月29日	令和3年度 第 2 回	1 令和4年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会事業計画及び収支予算について(説明事項)	終 了

4 定款の変更

事業年度中の定款の変更はなし。

5 職員の状況

令和4年3月31日現在の職員の状況は、次のとおりである。

(単位：人)

区分	事務職員						技術職員						技能業務職員	非常勤職員	合計	
	部長級	課長級	課長補佐級	係長級	主事	小計	部長級	課長級	課長補佐級	係長級	技師	小計				
緑化管理部	経営企画課		1	1	3	4	9				2	2	1	4	16	
	昆虫館				1		1		1		2	4	7		9	
動物公園	管理課		1	1	2	2	6				1	4	5	3	15	29
	飼育・展示課					1	1		1	4	9	17	31		2	34
植物公園	管理課		1	1	3	1	6	1		1		3	5	1	1	13
	栽培・展示課								1	3	1	6	11		6	17
合計			3	3	9	8	23	1	3	8	13	36	61	5	29	118

6 事業の実施状況

次の事業を実施した。

(1) 公益目的事業

① 緑のまちづくり [公1事業]

緑化思想の普及、啓発を図るとともに、市民の自主的な緑化活動を促進し、市民の生活にゆとりと安らぎを与え、健やかで潤いのある緑豊かな住みよいまちづくりを進めるため、次のとおり事業を実施した。

ア 緑化思想の普及啓発

(ア) グリーンフェア

名 称	時 期	場 所	内 容	入場者数
秋のグリーンフェア	10月30日 ~11月7日	植物公園	広島市等と実行委員会を組織し、見どころめぐりクイズラリーや花と緑の講習会などを行った。	17,441人
はなのわマルシェ (春のグリーンフェア の 代 替 事 業)	11月26日 ~11月28日	中央公園旧広島 市民球場跡地 イベント広場	広島市等と実行委員会を組織し、花と緑の講習会やワークショップの開催などを行った。	6,010人

(イ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、事業の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 124,695件
マスコミによる広報	通 年	新聞社を通じて、催し物などの情報を提供した。	6件

イ 民有地緑化の推進

(ア) 緑化講習会の開催

新型コロナウイルス感染症の影響により計画していた4回の緑化講習会の全てを中止した。

(イ) 緑のカーテン設置補助金などの交付 [緑化基金事業]

名 称	時 期	内 容	交付件数等	
			件数	金 額
緑のカーテン設置 補 助 金 の 交 付	4月1日 ~5月21日	緑のカーテンの設置に要した費用の一部を補助金として交付した。	54 件	296, 600 円
魅せる花づくり 補 助 金 の 交 付	5月1日 ~6月22日 9月1日 ~10月22日	民有地内で多くの人の目に触れる場所（道路に面した場所）において花づくりを行った費用の一部を補助金として交付した。	78 件	546, 500 円
記 念 樹 の 贈 呈	7月15日 ~8月31日	誕生、入学・卒業、成人、結婚など人生の記念の節目を迎えた者に記念樹（苗木）を贈呈した。	141 件	275, 330 円

(ウ) 緑化指導者の派遣 [緑化基金事業]

名 称	時 期	内 容	参加者数等
緑化指導者の派遣	通 年	緑化に精通した専門の指導者を講習会に派遣し、草花の寄せ植え、育て方などを指導した。	開催回数 24 回 参加者数 343 人

(エ) 出版物の発行 [緑化基金事業]

名 称	時 期	内 容	発行部数
ハンドブック 「魅せる花、緑のカーテン つくりかたBOOK」	通 年	「緑のカーテン設置補助金」や「魅せる花づくり補助金」の利用促進を図り、広島市の推進する「花と緑の広島づくり」に協力するため、緑のカーテン、花壇等の作り方・楽しみ方をまとめたハンドブックを発行・配布した。	2, 500 部

ウ 貢献者の表彰 [みどり生きもの協会賞基金事業]

広島市みどり生きもの協会賞基金の運用益等をもって、次のとおり広島市みどり生きもの協会賞を贈呈した。

<広島市みどり生きもの協会賞>

受 賞 者	対象区分	功 績 概 要
栄 谷 洋 氏	実 務	広島市の造園職員として永年にわたり公園緑地事業及び緑化推進事業に携わり、市民・企業との協働による花と緑のまちづくりの体制づくりや「第37回全国緑化フェア」(ひろしまはなのわ2020)の招致に尽力するなど、広島市の緑化推進事業の発展振興に多大な貢献をした。

② 動物公園の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた広島市安佐動物公園における動物の飼育・展示、収集及び飼育管理、入園料の收受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指消毒、三密回避などをお願いするとともに、手すりなど接触部分の消毒等を行った。なお、広島市からの要請で令和3年5月8日～6月20日、令和3年8月27日～9月30日の期間は臨時休園した。このほか、令和3年8月9日は台風接近、8月13日～14日は大雨による土砂災害の危険度「警戒レベル4（避難指示）」が発令されるとともに当園に接続する県道の法面崩壊により一部通行止めになったことから8月26日まで臨時休園した。休園中はSNSやホームページ等により、動物及び園内施設に関する情報発信を積極的に行うなど、再開時における利用促進につながる活動に取り組んだ。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れやコンクールその他催し物の開催など各種事業を実施し、動物に関する知識及び動物愛護思想の普及、かん養並びに動物愛好者の育成を図った。

ア 動物の飼育・展示など

(ア) 動物の飼育・展示

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
エントランスゾーン	アヌビスヒヒ サバンナのコピエをイメージしたヒヒ山では、身体能力の高いアヌビスヒヒを群れで展示し、開園時間に給餌を実施するなど社会性が観察できる展示を行った。2月には、繁殖個体へのマイクロチップ装着を兼ねて全頭の員数調査を行った。
	フラミンゴ 色鮮やかなフラミンゴ4種を群れで混合展示した。展示場内で繁殖行動を観察できる展示を行い、3羽の繁殖に成功した。3月には、一般社団法人広島市造園建設業協会の寄付により、飼育環境の改善と繁殖を目的としてフラミンゴ池を改修して展示場を広げ、コフラミンゴの単独展示を開始した。

[展示場所等] 主な展示動物	内 容
〔アフリカゾーンI〕	サバンナゾウ 雌とマルミミゾウを混合展示し、その違いが分かる展示と解説を行った。繁殖を目指していたが、7月に雌が急死した。
	マルミミゾウ ゾウの能力や飼育手法について解説した。マルミミゾウ舎完成後には、雄を導入し繁殖を目指す。
	アミメキリン 子ども2頭を含め、計5頭の群れ展示を行った。足に障害を持って生まれたキリンは、治療後は順調に成育している。 再整備工事による放飼場の一時的な縮小に対応するため、繁殖制限を実施し、雌雄別々の展示を行った。
	グラントシマウマ 再整備工事による放飼場の一時的な縮小に対応するため、繁殖制限を実施し、雌雄別々の群れ展示を行った。
〔アフリカゾーンII〕	チーター 敏捷で迫力ある動きをガラス越しに観察できる展示を行った。新たに導入した雄との繁殖を目指したが、交尾に至っていない。
	クロサイ 間近まで寄ってくる迫力ある展示を行った。なお、将来にわたって安定的に展示を続けるためには、血統の問題により、海外からの雄の導入を早期に実現する必要があるが、進展させることができなかった。
	ミーアキャット 穴掘りの様子や日光を浴びて立つ姿を観察できる群れ展示を行った。
〔サルのなかま〕	チンパンジー これまで別々に飼育展示していた大人の雄と雌や若い雄との同居を行い、群れ展示への取り組みを継続した。また、ガラス越しに間近で観察できる放飼場では、高所を自由に素早く移動する姿や、ステンレスの板を鏡として利用する姿など、本種の身体能力や知能の高さが学べる展示を引き続き行った。
	マンドリル 安定的な群れ展示を行うため、新たな雄の導入を模索したが、進展させることができなかった。
〔びーちくパーク〕	ボービー 新型コロナウイルス感染防止対策のため、乗馬体験は中止し、展示のみ行った。日よけや暑さ対策を目的に放飼場内に植栽していた樹木が台風で折れたため、3月には新たな樹木を植栽した。
	〔わくわく広場〕 ヤギ、ヒツジ、 ミニブタなど 新型コロナウイルス感染防止対策のため、ふれあい体験は中止し、展示のみ行った。
	〔ふれあいスペース〕 テンジクネズミ、 ウサギ 新型コロナウイルス感染防止対策のため、ふれあい体験は中止し、展示のみ行った。
	〔インコの森〕 大型インコ類 全国的な鳥インフルエンザの流行により、冬季には展示を中止した。また、スマレコンゴウインコについては、繁殖を目指しているが、孵化には至っていない。

[展示場所等] 主な展示動物	内 容	
〔び ち く パー ク〕	〔ことりの家〕 ベニスズメ、 セイキチョウなど	全国的な鳥インフルエンザの流行により、冬季には施設内の通り抜けを中止し、建物外側からの観覧とした。3月には、成長しすぎた植栽樹木の樹種を変更し、更新して視認性を高め、観覧環境を改善した。
	〔子育ての家〕 オオサンショウウオ、 ヒヨコ、ハツカネズミ	オオサンショウウオの幼生・幼体・成体の展示のほか、ヒヨコなどの誕生と成長の過程が観察できる展示を行った。
	フンボルトペンギン	定期的に産卵・抱卵したが、孵化までには至らなかった。
〔は ち ゅ う 類 館〕	〔1階〕 スローロリス、 コウモリ類など	活発に動き回る夜行性動物の姿を観察できるよう、照明を暗くした1階には、ムササビなどを展示した。スローロリスについては、8年ぶりに繁殖に成功し、親子での展示を行った。また、LED照明を利用した種名看板や解説板に更新して視認性を高め、観覧環境を改善した。
	〔2階〕 ニシアフリカコガタワニ、 ヘビなど	子どもに人気のあるワニやヘビなどの爬虫類のほか、特別天然記念物のオオサンショウウオを屋内展示した。平成30年度に雌が死亡し雄1頭になったニシアフリカコガタワニについては、新たな雌の導入を模索したが進展しなかった。また、ピクトグラムを使った解説板に更新して視認性を高め、観覧環境を改善した。
〔リクガメ広場〕	リクガメ類	平成30年度に当園では初めて繁殖に成功し、順調に成育しているホウシャガメのほか、インドホシガメ、ケヅメリクガメ、アルダブラゾウガメなど、大小様々なリクガメ類の展示を行った。
〔ア ジ ア の 草 食 動 物〕	マレー バク	多雨林の環境で生息するマレーバクを展示し、生態や野生における現状について解説した。また、繁殖に向けて雌の導入を模索したが進展しなかった。強い日差しを避けるため、放飼場内に新たに樹木を植栽した。
	ブラックバック	半砂漠や乾燥した落葉樹林などに生息するブラックバックを展示了。順調に繁殖し群れ展示を引き続き行った。
〔日本 の 動 物〕	キツネ、タヌキ アナグマなど	身近な動物について学ぶため、広島県内に生息するキツネ、タヌキ、アナグマなどを展示した。寄付により、キツネ放飼場に東屋を新設し、一年を通して快適に過ごせる環境を整えた。
	ツキノワグマ	中国山地に生息し、人間の社会行動によって生存が危ぶまれているツキノワグマを展示し、現状などを伝えた。

〔展示場所等〕 主な展示動物		内 容
〔天 鳥 舎〕	サカツラガン、 オシドリなど	湿地や森林の河川に生息する水鳥類を展示した。展示の充実に向け繁殖に取り組み、当園で初めてサカツラガン1羽が繁殖し、順調に成育した。また、全国的な鳥インフルエンザの流行により、冬季には施設内の通り抜けを中止し、建物外側からの観覧とした。
〔西 園〕	ユーラシアカワウソ	中国系のユーラシアカワウソを飼育している国内施設はごくわずかであり、国内に4頭しかいない中国系亜種の繁殖に取り組んだが、妊娠に至らなかった。
	レッサーパンダ	令和元年度に繁殖した2頭の子どもが成育し、種保存事業に貢献するとともに展示を充実させた。また、血統に問題がない別のペアによる繁殖を図ったが、妊娠に至らなかった。
	シ フ ズ ウ	雄1頭の展示を続けており、希少動物であることなどについて、解説や情報発信を積極的に行った。
	ニホンカモシカ	異なる血統の雌を導入し、新たなペアによる繁殖の取り組みを開始した。
〔肉 食 動 物 ゾ ーン〕	ライオン	強化ガラス（レオガラス）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。新型コロナウイルス感染拡大防止のため、「レオガラスお食事タイム」など密集につながるイベントは中止した。損傷が著しく見えにくくなっていた強化ガラス2枚を交換した。
	アムールトラ	強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。平成30年度に導入した雄による繁殖を図った。
	アムールヒョウ	強化ガラス（パンセラビュー）により、迫力や威圧感が伝わる展示を行った。平成30年度に導入した雄による繁殖を図った。

【動物の飼育展示数】

(令和4年3月31日現在)

区 分	種 類	点 数
哺 乳 類	56種	602点
鳥 類	38種	655点
爬 虫 類	33種	220点
両 生 類	3種	305点
魚 類	10種	—
合 計	140種	1,782点

(イ) 動物の収集及び飼育管理

名 称	内 容				
展示動物の維持及び種の保存	血統や余剰動物の管理を適切に行い、計画的な繁殖、ブリーディングローンなどにより、展示動物を適正に維持するとともに、保護が必要な動物を飼育し、種の保存を図った。				
飼 育 下 繁 殖	オオフラミンゴ、サカツラガン、スローロリス、ナゴヤダルマガエルなど、絶滅危惧種や希少種とされている野生動物の繁殖に成功した。				
	所有権を移転することなく、他園と動物の貸出しや借り入れを行うことで、効率的かつ効果的に繁殖を行った。				
	(単位:頭)				
ブリーディングローン		哺乳類	鳥類	爬虫類	合計
	3年度 新規	借入 貸出	0 0	0 1	0 1
	全体	借入 貸出	18 48	5 24	24 72
	3年度貸出: ルリコンゴウインコ (いしかわ動物園)				
	(公社) 日本動物園水族館協会が行う血統登録に参画し、希少種の血統管理の会議に出席するなど国内の希少種保全に協力した。ニホンカモシカの入替を行うなど他園館と協力して希少種の血統管理を行い、血縁の偏りを防いだ。				
国際的な動物園間情報ネットワーク(ZIMS)の活用	国際的なNGO団体である「Species360」に加盟し、世界中の動物園における繁殖・診療など飼育管理に関する情報や当園が入手可能な希少動物に関する情報を継続的に入手した。				
動物の飼育管理及び展示環境の改善	園内で飼育・展示する動物が健康で長生きできるよう飼育管理を行った。また、動物が本来持つ自然で多様な行動を引き出し、日々生き生きと暮らせるよう、展示環境の改善を行った。				
飼 育 管 理	健康状態を良好に保つため、衛生的かつ栄養学的に適切な飼料の配合や給餌、必要に応じた診察や治療、飼育舎の衛生管理を行った。高病原性鳥インフルエンザ対策のため、一部の鳥類を隔離した。また、ネコ科の動物に感染する可能性のある重症熱性血小板減少症候群(SFTS)対策として、マダニ駆除のための薬剤散布や草刈を行った。				
展示環境の改善 (環境エンリッチメントの強化)	生息地の自然環境を考慮し、野生動物が本来持つ行動を引き出すため、展示環境の改善を行った。遊び道具、遊戯木や渡り木の設置、餌を探させることを目的とした放飼場への落ち葉の敷き詰めなど、動物ごとに様々な工夫を施した。キツネ放飼場には新たに東屋を設置し、一年を通して快適に過ごせる環境を整えた。				

(ウ) 入園料の収受 (利用料金制)

【入園状況】

区分				入園者数	使用料	
有料入園者	個人	大人	18歳以上 65歳未満	510円	110,251人 56,228,010円	
			65歳以上	170円	6,649人 1,130,330円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170円	1,886人 320,620円	
	年間パスポート	大人	18歳以上 65歳未満	1,560円	5,301人 8,269,560円	
			65歳以上	510円	325人 165,750円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	510円	10人 5,100円	
	提示	大人	18歳以上 65歳未満	-	18,232人 -円	
			65歳以上	-	1,700人 -円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	-	19人 -円	
	団体	大人	18歳以上 65歳未満	430円	1,867人 802,810円	
			65歳以上	130円	51人 6,630円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	1,965人 255,450円	
	優待割引	大人	18歳以上 65歳未満	430円	558人 239,940円	
			65歳以上	130円	21人 2,730円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130円	2人 260円	
小計				148,837人	67,427,190円	
減免等入園者 (小・中学生、社会福祉施設、その他)				144,358人	0円	
合計				293,195人	67,427,190円	

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	枚 数 等
年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に動物公園の魅力に触れる機会を提供するため、植物公園・昆虫館と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休園した日数については、利用期限を延長する対応を行った。	販売枚数 5,636 枚
優待利用券の販売	通 年	企業や団体の福利厚生や景品などへの利用を目的に優待利用券(入園券引換券+飲み物引換券)を販売し、新たな入園者の獲得に努めた。	販売冊数 大人(65歳未満) 50 冊
広島市交通科学館との相互利用促進 ((公財)広島市文化財団共同事業)	通 年	近隣施設の広島市交通科学館と協力して、相手施設の使用済の観覧券又は入園券提示者に団体割引料金を適用し、更なる利用者獲得を図った。	581 人
旅行業者と連携した観光客の誘致	通 年	入園者誘致のため、旅行業者が発行するクーポン券利用による入園料の後納の取扱いを行うとともに、当園の広報宣伝を旅行業者に委託した。	1 件
アニマルカードの進呈	通 年	天候不順日の来園者に、動物公園オリジナルアニマルカードを進呈し、更なる顧客の獲得に努めた。	5,423 枚
外国人観光客誘致の促進	通 年	観光案内所を通じて、英語や中国語のリーフレットを配布した。	平和記念公園レストハウス観光案内所、JR広島駅南口観光案内所、広島バスセンターなど
休園日の開園	4月1日 4月28日 5月6日 7月21日 3月31日	春休み、ゴールデンウイークにおける休園日、祝日と重なる場合の前日の振替休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	1,160 人 333 人 810 人 204 人 631 人 計 3,138 人
宮島水族館との連携	7月17日 ~3月31日	宮島水族館と連携し、スタンプラリーを実施し、観光客等の増加を図った。	《スタンプラリー参加者》 安佐動物公園 832 人 宮島水族館 1,369 人

名 称	時 期	内 容	入園者数
夜 間 開 園 (ナイト・サファリ)	8月7日 8月8日	幻想的な雰囲気を醸し出すとともに、昼間とは異なる動物たちの生態を観察できるよう、園内のライトアップや夕暮れコンサートなどを行い、動物公園の魅力を向上させ入園者の増加を図った。 土砂崩れによる広島県道 268 号勝木安古市線の通行止め、新型コロナウイルス感染症拡大防止を目的とした緊急事態宣言の発令により、8月 13 日以降臨時休園したため、予定していた計 8 日のうち 2 日しか実施できなかった。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 1,856 人 634 人 計 2,490 人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】			
「pony一体験乗馬」ポイントカードの発行、休園日の開園（9月 22 日）、夜間開園（8月 14 日、15 日、21 日、22 日、28 日、29 日）、がんばれカープ！カープミニ新幹線に乗ろう、安佐動物公園ウォーキング大会（安佐北区役所共同事業）、お客様感謝デーの実施（1月 10 日、2月 11 日は通常どおり有料開園した。）			

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施 設 の 維 持 管 理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、園内の清掃・警備を行った。動物の排泄物については、園内で堆肥化した上で、農家に提供した。また、動物舎などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレット（外国人向けのものを含む）や園内放送などにより利用案内を行った。
緊 急 時 な ら ど の 対 応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
園 内 情 報 の 提 供	通 年	園内の各所に工夫を凝らした展示解説板やクイズボード等を設置し、動物に関する知識の普及を図った。また、「きょうの見どころ・イベント」の掲示板により当日の情報を提供した。
スマートフォン等用園内ガイドアプリを活用したサー ビ ス の 提 供	通 年	スマートフォンやタブレットを活用した入園者の利便性の向上や動物に関する知識の普及を図るため、スマートフォン等用の園内ガイドアプリを運用した。（ダウンロード件数 1,056 件）

(カ) 施設の機能充実

名 称	時 期	内 容
みどり生きものサポーター・安佐動物公園募金等による施 設 の 機 能 充 実	通 年	動物福祉の向上のため、一年を通して快適に過ごせるよう、キツネの放飼場に東屋を設置した。来園者の目線の高さでキツネが休息することが多くなり、観察しやすくなった。

(キ) 開園 50 周年記念事業

名 称	時 期	内 容
開園 50 周年記念企画展 「命をつなぐ未来へつなぐ~」	7月24日 ~10月17日	開園 50 周年を迎えた安佐動物公園の歴史について、年表や映像により振り返る企画展を開催した。
記念映像の制作	7月26日~	50 年にわたり当園が行ってきた命をつなぐ活動や動物園の意義を伝える記念映像を制作し、YouTube で配信した。
「広島市安佐動物公園 50 周年記念 オオサンショウウオを知る 守る そして共に」の発行	9月1日	長年にわたるオオサンショウウオの調査活動の成果をまとめた記録集を発行した。 (発行部数 1,500 部)
づくり 「開園 50 周年記念号」の発行	1月31日	飼育・展示してきた動物、種の保存の取組など安佐動物公園の 50 年の歩みを紹介する記念号を発行した。 (発行部数 1,100 部)

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	回 数 等
日動水の種保存に関する会議への参加	通 年	(公社) 日本動物園水族館協会の種保存に関連した w e b 会議に参加し、種保存(繁殖) 計画の検討及び調整を行った。	9 回
希少動物の保護	通 年	(公社) 日本動物園水族館協会からの受け入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄動物を保護した。	15 点
姉妹動物園との交流	通 年	ホノルル動物園のオオサンショウウオ飼育担当者と電子メール等による飼育技術交流を行った。	1 件
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 日本オオサンショウウオの会の活動			

(イ) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	回 数
生息地における絶滅危惧動物の保全	通 年	北広島町志路原地区や世羅町小谷の保全団体などとの協働により、オオサンショウウオやナゴヤダルマガエルなど、絶滅に瀕した野生動物の保全活動を行った。また、オヒキコウモリについては、安佐北高等学校の校舎や広島大学歯学部校舎に生息する個体群の調査を行った。	オオサンショウウオの調査 13 回 ナゴヤダルマガエルの調査 6 回

(ウ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地以外における絶滅危惧動物の保全	通 年	国の特別天然記念物であるオオサンショウウオと、希少種であるオヒキコウモリ、キクガシラコウモリやヤマコウモリの飼育、ハヤブサの飼育下繁殖、繁殖行動の調査などに取り組んだ。また、広島県の絶滅危惧種であるナゴヤダルマガエルは、広島県からの受託業務により保全活動に取り組んだ。	6 件

(エ) 動物に関する調査・研究等

名 称	時 期	内 容
動物に関する調査・研究	通 年	<p>園内の動物や県内の野生動物の生態などについて調査・研究を行い、飼育技術の確立や生息域内・域外保全の推進に努めた。</p> <p>1 再整備に向けた調査・研究 〔短期的取り組み〕</p> <ul style="list-style-type: none"> ・マルミミゾウ舎の建設及び新キリン・シマウマ舎の実施設計において、動物の生態・行動、飼育方法や、構造に関する専門的な情報を提供するなど広島市に協力した。 〔中・長期的取り組み〕 ・キクガシラコウモリ等の小型哺乳類の飼育技術の確立のための飼育施設環境整備を行った。 ・園内に生息しているホンドギツネやムササビの行動について随時調査するとともに、入園者の観察に適したポイントについての研究を行った。 <p>2 繁殖に関する調査・研究</p> <ul style="list-style-type: none"> ・他園への聞き取り調査等を行い、チーター、サバンナゾウ、レッサーパンダ等の繁殖に関する調査・研究を行った。 ・希少種であるオヒキコウモリ、ヤマコウモリ、飼育困難種であるキクガシラコウモリ、ニホンノウサギの繁殖に取り組んだ。
各種資料の収集	通 年	Journal of ZOO and WILDLIFE MEDICINE など動物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、繁殖などの調査・研究に役立てた。
写真・動画などの制作	通 年	サバンナゾウの繁殖行動、ルリコンゴウインコの雛の成長、ニホンカモシカの搬出の様子などを写真・動画等に収録し、飼育技術の向上、継承及び調査・研究に役立て、事業記録として保存した。
学会・研究会への参加	通 年	集合形式の学会や研究会は、新型コロナウイルス感染拡大防止のため中止となった。w e b 形式で開催された(公社)日本動物園水族館協会中国四国ブロック動物園技術者研究会及び中国四国野生動物医療・看護勉強会(11月、3月)に参加した。日本動物園水族館協会の総会では技術研究表彰講演を、技術者研究会では課題講演・研究発表を行った。

名 称	時 期	内 容
オオサンショウウオの調査研究・成果の公開	通 年	大学・博物館等との共同により、オオサンショウウオの調査研究を推進した。その成果を公開するシンポジウムは、新型コロナウイルス感染拡大防止のため、web形式で開催した。
研究活動発表会（動物園・植物園・昆虫館共同事業）	2月12日～3月31日	飼育展示活動や調査研究活動などの成果を市民に情報提供した。新型コロナウイルス感染症の影響により、会場での開催（2月5日）は中止したが、2月12日から発表動画（録画）をYouTubeで公開した。

(オ) 野生動物の救護

名 称	時 期	件 数 等																				
野生動物の救護	通 年	<table> <tr> <td>哺乳類</td> <td>9 件</td> <td>8 種</td> <td>11 点</td> </tr> <tr> <td>鳥 類</td> <td>40 件</td> <td>20 種</td> <td>53 点</td> </tr> <tr> <td>爬虫類</td> <td>2 件</td> <td>2 種</td> <td>2 点</td> </tr> <tr> <td>両生類</td> <td>1 件</td> <td>1 種</td> <td>1 点</td> </tr> <tr> <td>計</td> <td>52 件</td> <td>31 種</td> <td>67 点</td> </tr> </table>	哺乳類	9 件	8 種	11 点	鳥 類	40 件	20 種	53 点	爬虫類	2 件	2 種	2 点	両生類	1 件	1 種	1 点	計	52 件	31 種	67 点
哺乳類	9 件	8 種	11 点																			
鳥 類	40 件	20 種	53 点																			
爬虫類	2 件	2 種	2 点																			
両生類	1 件	1 種	1 点																			
計	52 件	31 種	67 点																			

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
クイズ形式ワークシートの園内配布	通 年	クイズ形式のワークシートを年齢層別・テーマ別に作成して園内で配布し、動物への関心や興味を喚起する機会を提供了。	配布枚数 12,000 枚
動物クイズラリーの助成	通 年	遠足時におけるクイズラリーの相談を受け、助言やスタンプの貸出しを行った。	10 件
講演会・研修会への講師の派遣	通 年	大学や団体などの要請に基づいて、職員を講師として派遣し、動物の生態や自然などについて講演した。	4 件
教材資料の作製・貸出し	通 年	骨格標本など教材資料を作製し、学校などに貸出した。	43 件 120 点 利用者 6,327 人

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】

動物レクチャー・体験型環境学習プログラム、ぴーちくパークにおけるふれあい指導、実習生の受入れ、専門学校と連携したイベント実習

(イ) 学校教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数
理科教育での連携	通 年	近隣にある日浦小学校に対し、講師の派遣、園内での体験学習、情報提供等を行った。	2 件
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 出前講座、教材生物バザールへの参加			

(ウ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	人 数 等
動物解説ボランティア	通 年	園内で動物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (解説ボランティア登録人数 41人)	活動延べ人数 83 人
作業ボランティア	通 年	園内で花づくりなどの作業に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (作業ボランティア登録人数 38人)	活動延べ人数 606 人
H a p p y B u s 停 プロ ジ ェ ク ト (呉工業高等専門学校)	通 年	公共交通機関利用による来園と近隣団地のバス路線の利用促進を図るため、学生が近隣団地などと連携して進めてきた動物園前バス停のパネルや園内売店前の時刻表等バス情報の更新などを行った。	1 件
大学・専門学校等との協働	通 年	大学・専門学校等と動物公園との相互協力により共同研究などを行った。	麻布大学 1件 岡山理科大学 1件 神奈川県立博物館 1件 北里大学 1件 岐阜大学 1件 九州大学 1件 京都大学 1件 神戸大学 1件 国立遺伝学研究所 1件 国立科学博物館 1件 東京大学 1件 東京農工大学 1件 東邦大学 1件 長浜バイオ大学 1件 広島学院高校 1件 広島大学 2件 北海道大学 3件 明治学院大学 1件
鹿角ストラップづくり ((公財)広島市文化財団)	4月 29 日	シカの角を使った縄文風のオリジナルストラップ作りを体験するとともに、市内で発掘された動物に関する出土品を展示了。	イベント参加者 172 人

名 称	時 期	内 容	人 数 等
動物園で計量記念日 (広島市計量検査所・ (一社)広島県計量協会・ 広島市計量協会)	10月31日	11月1日の計量記念日にちなみ、動物の体重や長さなどについてパネル解説を行った。また、啓発を目的としてポケットティッシュを配布した。	配布 500 個
ボランティアとの 共 同 イ ベ ン ト	12月4日	ボランティア主催のイベント「フェルトでゆきだるま」を支援し、安佐動物公園主催のイベントへの協力を受けた。	イベント参加者 100 人
「広島市立大学 芸術学部日本画展」	1月10日 ～1月30日	広島市立大学芸術学部の学生が動物公園で描いた動物画や動物のいる風景を題材とした作品展を開催した。	展示作品数 20 点
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】			
むし・花・ZOO-ZOO ふれあい広場(㈱広島東洋カープ)、がんばれサンフレッヂエ広島どうぶつ広場(㈱サンフレッヂエ広島)、サンちゃんの一日警察署長(安佐北警察署)、ドリームナイト・アット・ザ・ズー(ジブラルタ生命保険㈱)、わくわく動物園! 夏休み思い出づくり(サンスター㈱)、防災の日関連イベント(国土交通省中国地方整備局、広島県土木建築局、広島市危機管理室)、秋のグリーンフェア 2021「いきものランド」(フェア実行委員会)、サンちゃんの一日消防隊長(安佐北消防署)			

(エ) 広島動物愛好会の活動

会員内訳 (個人会員: 120 人、家族会員: 31 家族 112 人、賛助会員: 5 社)

名 称	時 期	内 容	参 加 者 数 等
例 会 (第294回～第298回)	4月11日	「開園 50 周年①繁殖賞・古賀賞・高崎賞」(講話)、園内見学	49 人
	8月8日	「開園 50 周年②～レジェンド飼育係、鈴木信義さんのおはなし～」(講話)、園内見学	36 人
	10月10日	「開園 50 周年③～レジェンド飼育係、大津 晴男さんのおはなし～」(講話)、園内見学	37 人
	12月12日	「十大ニュース」(講話)	42 人
	2月13日	「今年は寅年! 安佐動物公園の歴代トラと亜種」(講話)、園内見学	23 人
会 誌 の 発 行	年 6 回	愛好会の活動や動物公園の出来事などを載せた会誌「ズーミング」を発行した。	各回 200 部
すづくりの送付	年 4 回	動物公園の出来事などを載せた機関紙「すづくり」を会員に送付した。	各回 200 部
自 然 觀 察 会	7月25日	厳島神社の大鳥居周辺の干潟に生息する動植物の観察を行った。 (場所 廿日市市宮島町)	16 人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
自然観察会	10月3日	広島市森林公園内の藤ヶ丸山・呉婆々宇山付近での動植物観察や施設見学を行った。(場所 広島市東区)	11人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 例会(6月)			

(オ) 講演会その他催し物の開催

a 講演会

名 称	時 期	内 容	参加者数
シーラカンスだけではない! 身近にいる生きた化石	11月3日	大塚攻氏(広島大学教授)を招き、生きた化石と言われるカブトガニを次世代に残すための取組などをテーマとした講演会を開催した。	43人

b コンクール

名 称	時 期	内 容	応募点数等
動物作文・詩コンクール	7月2日 ~9月5日	小・中学生を対象に、動物に関する作文・詩を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 583点 入選 145点
動物画コンクール	7月2日 ~9月5日	動物公園の動物や園内風景を題材とした動物画を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 2,847点 入選 400点
動物写真コンクール	9月1日 ~11月30日	園内の動物や風景などを題材とした写真を募集し、入賞作品を表彰した。	応募 244点 入選 23点

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】

こども写生大会(中国新聞社共催)、安佐南区子ども会連合会写生大会(安佐南区子ども会連合会共催)、動物と消防の写生大会(安佐北区子ども会連合会・安佐北消防署共催)

c 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	10月2日	自然に関する理解を深めるため、広島市佐伯区の海老山公園とみずとりの浜公園で動・植物や昆虫を観察した。	31人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 ダルマガエルの目覚め観察会、身近な生き物を観察しよう			

d 動物教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
飼育係が動物解説	通 年	新型コロナウイルス感染拡大防止のため、入園状況を考慮した上で、密集しないよう時間を決めず随時実施した。	未集計
飼育の日イベント	4月18日	4月19日の「飼育（419）の日」にちなみ、飼育係の仕事内容をパネルで解説した。	入園者 3,654人
世界バクの日イベント	4月27日	4月27日の「世界バクの日」にマレーバクについてのパネルとポスターを掲示し、オリジナル缶バッジを配布した。	缶バッジ配布 100人
スマートフォンアプリダウンロード促進イベント	5月2日	オリジナルアプリのダウンロードを促進するために、ダウンロードした来園者に景品を進呈した。	33人
動物へ暑中お見舞い	7月22日	大暑の日に合わせ、アヌビスヒビにスイカを与えた。	約130人
夜の動物園で動物観察 (寄 附 者 対 象)	7月31日	みどり生きものサポーター等の寄附者を夜の動物公園に招待し、動物たちの夜間特有の行動を観察した。	82人
動物たちの敬老の日	9月20日 ~10月20日	敬老の日にちなんで、長寿動物の表彰状看板を各展示場に掲出した。	3か所
動物の毛皮を見てみよう	11月21日	展示した様々な毛皮を観察し、動物による違いや体の仕組みについてパネルで解説した。	約100人
サンちゃんデー	11月28日	解説パネルとオオサンショウウオの幼体を展示し、缶バッジを配布した。	缶バッジ配布 100個
干支の動物缶バッジをプレゼント	1月2日 1月3日	正月に、干支の動物「寅」(トラ)をデザインした缶バッジを入園者にプレゼントした。	缶バッジ配布 各日200個
まんが動物園 & 動物まんがクイズラリー	(漫画展示) 2月1日 ~2月28日 (クイズ) 2月13日 2月20日 2月27日	飼育係が描いたまんが解説パネルを展示し、そのまんがを題材にしたクイズラリーを行った。	929人
親 子 動 物 教 室	3月13日	親子を対象に、動物の形態や生態について学習する機会を提供した。	18人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】			
動物愛称募集、世界カワウソの日イベント、オウム・インコデー、世界キリンの日イベント、動物のうんち探検隊、サマースクール、レッサーパンダの日イベント、世界サイの日イベント、Zoo cafe(飼育係と動物トーク)、もうすぐクリスマス安佐動物公園からプレゼント、動物園でしめ飾り作り体験、新春動物かるたで遊ぼうよ!、動物脱出対策公開訓練、動物観察えさやり体験デー			

(カ) 学校教育活動の受入れ

名称	時期	内容	参加者数等
動物レクチャー・体験型環境学習プログラム	通年	小・中・高校生を対象に、動物科学館2階ホールや動物展示場前において、随時、動物の生態や特徴についての話や体験学習を行った。	11件 730人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 なかよし動物教室、職場体験の受入れ、進路総合学習の受入れ			

(キ) 企画展その他展示会の開催

名称	時期	内容
動物写真コンクール入賞作品展	4月24日～5月7日	前年度の「動物写真コンクール」の入賞作品を展示了。
動物画コンクール入賞作品展	10月30日～11月21日	「動物画コンクール」の入賞作品を展示了。
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 動物と消防の写生大会入賞作品展、こども写生大会入賞作品展、市民公募展		

(ク) 広報普及

名称	時期	内容	件数等
マスコミによる広報	通年	テレビ局・ラジオ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物や赤ちゃん誕生などの話題を広報した。	広報件数 39件 取材件数 142件 《取材件数の内訳》 テレビ 74件 ラジオ 4件 新聞 53件 その他 11件
動物写真パネル等の貸出し	通年	動物の写真パネルやまんがを公共施設や事業所などに貸し出し、これらの場所を動物公園のPRの場とした。	5か所 120点
ホームページによる広報	通年	ホームページにより施設の紹介、催し物、赤ちゃん誕生などの最新情報を提供した。	88件
Twitterによる広報	通年	情報共有力・拡散力の高いTwitterにより、施設、イベントなどの魅力ある情報を速やかに発信した。	814件
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 近隣県市町広報、動物レクチャー・体験型環境学習プログラムの普及、観光事業所との連携、催し物案内ポスター・PR用チラシの配布、動物解説広場の実施、マスクットキャラクターを利用したPRの実施、保育園・幼稚園・学校へのPR、近隣団地へのPR、公共交通機関利用者へのPR			

(ヶ) 出版物の発行

名 称	内 容	発行部数
「 す づ く り 」 「 飼 育 記 錄 集 」 「 年 報 」	動物公園のニュース、動物の飼育記録や生態などを紹介した機関紙「づくり」及び飼育動物の生態に関する研究や飼育技術などについての発表をまとめた「飼育記録集」などを発行、配布し、動物に関する知識の普及や動物園事業の周知を図った。「年報」についてはホームページ上で公開した。	づくり 4回計4,400部 飼育記録集 260部

(コ) 動物に関する相談

名 称	時 期	件 数
動 物 相 談	通 年	飼育相談 13件 野生動物の救護 9件 引取依頼 75件 有害鳥獣の駆除対策 14件 その他一般相談 80件 計 191件

③ 植物公園の管理運営 [公2事業]

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた広島市植物公園における植物の栽培・展示、収集及び栽培管理、入園料の収受、施設の維持管理などを行い、入園者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指消毒、三密回避などをお願いするとともに、手すりなど接触部分の消毒等を行った。なお、広島市からの要請で令和3年5月8日～6月20日、令和3年8月27日～9月30日の期間は臨時休園した。このほか、令和3年8月9日は台風接近、令和3年8月14日～19日は大雨による土砂災害の危険度「警戒レベル4（避難指示）」が発令されたため臨時休園した。休園中はホームページ等により、植物及び園内施設に関する情報発信を積極的に行うなど、再開時における利用促進につながる活動に取り組んだ。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、生息域内保全と生息域外保全の両面から生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育への協力、学校教育活動の受入れや講座その他催し物の開催など各種事業を実施し、植物に関する知識及び植物愛好心の普及、かん養並びに植物愛好者の育成を図った。

ア 植物の栽培・展示など

(ア) 植物の栽培・展示

[展示場所] 主な展示植物	内 容
〔大温室〕 ヤシ、ラン、オーストラリアバオバブ、熱帯果樹など	最高部が21mある温室の大きさを活かし、巨大な熱帯植物とそれらが醸し出す熱帯の雰囲気を体感できる展示を行った。立体交差やバリアフリー対策を施した通路から観賞しやすいよう、熱帯の水辺、熱帯の花、熱帯の果実などにゾーニングしたエリアに約700品種5,000株の亜熱帯、熱帯植物を効果的に展示した。また、シンボルツリーとして導入した国内最大のオーストラリアバオバブを活用したタッチングイベントを11月に行った。
〔サボテン温室〕 サボテンなど	サボテン類や多肉植物約320品種500株を科ごとに分けて植栽し、説明板や写真パネルを付けて展示した。乾燥地に適応した特異な形態や植物の適応戦略の面白さを知ることで、生き物に対する興味の高揚を図った。
〔熱帯スイレン温室〕 熱帯スイレンなど	多彩で美しい花を咲かせる熱帯スイレンの品種を新規導入し、約50品種のコレクション数に増加させるとともに、池周辺に色鮮やかな熱帯植物を配し、より多彩な魅力を紹介した。また、巨大な葉を持つオオオニバスを展示して夏休み期間中に試乗体験会を行ったほか、子どもに人気の高いウツボカズラやハエトリグサなどの食虫植物を、模型や解説パネルを交えて展示するコーナーを設けるなど、子どもが植物に興味を抱くきっかけ作りの場とした。

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[ベゴニア温室] 球根ベゴニアなど	季節を問わず美しい花を楽しむことのできる癒しの空間を提供するために冷暖房と電気照明設備を活用し、世界で最も美しい花の一つと言われる球根ベゴニアを周年開花させ、680品種の様々なベゴニアと合わせて展示した。また、球根ベゴニアの生育過程を解説展示することで、植物を育てるごとに興味を抱く機会を提供した。
[フクシア温室] フクシア、野生ランなど	風鈴のようにチャーミングな花を咲かせるフクシア約140品種230鉢を周年展示し、非日常的な植物の美しさを楽しむ場とした。また、野生ランコーナーでは当園の主要なコレクションである世界の野生ランを、解説パネルなどを交えて展示し、ランの不思議な世界を観賞できる機会を提供した。
[カスケード] パンジー、ペチュニアなど	年間2,000基以上のプランターやコンテナを設置し、季節を代表する草花を展示して家庭園芸の見本として展示を行った。
[展示温室] ゼラニウムなど	植物公園が保有する世界のラン、ゼラニウム、イワタバコの仲間、食虫植物、薬用植物、変化アサガオなどや、近郊の愛好家が出品するエビネ、セッコク・長生蘭ウチョウラン、サボテンなど、季節にふさわしい植物を年間14回展示した。
[芝生広場] サクラなど	入園者の憩いの場、語らいの場のほか、子どもの遊び場として利用した。また、周辺にはサクラ類、マンサク、ロウバイ、ツツジなどの花木類を植栽・展示した。
[花の進化園] スイレン科、ユリ科、キク科、ラン科など	入園者が実物を観察しながら、花の進化について理解を深められるよう、種子植物を科ごとにまとめて植栽し、分類や進化の説明をつけて展示した。また、被子植物は最近主流になりつつあるAPG分類体系へ移行し、理解を深める工夫をした。(APGとは、Angiosperm Phylogeny Group (被子植物系統グループ) の略で、葉緑体DNAの解析から植物の類縁関係を決定し分類したものである。)
[屋外展示場] クレマチス、山野草など	愛好家が出品するクレマチス、山野草のほか、植物公園が保存するサクラソウ、アジサイ、中国ギクなどを展示した。
〔ロックガーデン うらら池散歩道 里山の野草園〕 セツブンソウ、ヒゴタイ、ヤチシャジンなど	野生植物の多様な姿や絶滅に瀕している植物を中心に紹介することで、環境保全に対する関心を促した。ロックガーデンでは、高山や海岸などといった厳しい環境にも生育する種を、うらら池散策路沿いや里山の野草園では、主に広島県内の里山環境に自生する種を中心に紹介した。
〔休憩展望塔から うらら池湖畔 アジサイ〕	休憩展望塔西側斜面からうらら池東側斜面にかけてアジサイを順次追加植栽し、既存の日本庭園周辺とあわせてアジサイをめぐる回廊をつくることによって、梅雨頃の魅力アップを図った。
[バラ園] バラ	広島市に寄贈された品種、野生種、オールドローズや古花と呼ばれる希少な園芸品種の植栽展示に力を入れることで他のバラ園との差別化を図り、バラの遺伝子資源の保全に貢献した。また、適所に新品種を配置し、バラに包まれたくつろぎの空間を提供した。観察路の補修、生垣を撤去してつるバラ用フェンスを設置するなど、よりよい観察環境の整備を行った。

[展示場所] 主な展示植物	内 容
[ツバキ園] ツバキなど	日本が世界に誇る園芸植物の一つであるツバキを植栽・展示した。周囲には、サザンカ類、ヒメシャラなどの野生種や、タイワンフウ、イロハモミジ、ニッサなど紅葉の美しい樹木を植栽し、秋から冬にかけての見どころとした。また、フジバカマなどチョウを呼び寄せる植物を植栽し、バタフライガーデンとして憩いの空間を提供した。
[日本庭園] ウメ、ハナショウブ、 アジサイなど	本格的な茶室を中心に、ウメ、ハナショウブ、アジサイ、モモ、ミヤコワスレ、サツキなど和風の植物を植栽し、落ち着いた雰囲気でくつろげる空間を提供した。ハナショウブ園では後世に伝えたい古花の展示に努め、江戸期に育成された古花を中心に1,000株を展示するなど、他の大規模なハナショウブ園との差別化を図った。また、最奥部では自生地に近い環境を生かし、ヤマアジサイ、エビネの植栽展示を行った。
[樹林観察園] シイ類、ブナ、カエデ類など	西南日本の常緑広葉樹林と落葉広葉樹林の構成種を植栽し、これらの樹林の環境や樹木について現地に行くことなく体感、学習できる場を提供した。
[森のレストラン前花壇] コスマスなど	園内で最大の面積を誇る花壇に、春はネモフィラ、夏はヒマワリ、秋はコスマスを植栽し、フォトジェニックな風景を提供した。
[展示資料館周辺]	企画展示・講演会等への誘導及び快適な園内散策となるよう、効果的な植栽を行った。

【植物の栽培展示数】

(令和4年3月31日現在)

区 分	種 類	本 数
大 温 室	700 品種	5,000 本
サボテン温室	320 品種	500 本
熱帯スイレン温室	200 品種	750 本
ベゴニア温室	680 品種	2,000 本
フクシア温室	300 品種	370 本
栽培温室	3,900 品種	32,500 本
バラ園	700 品種	1,000 本
ツバキ園	200 品種	600 本
花の進化園、樹林観察園その他	3,100 品種	154,280 本
合 計	10,100 品種	197,000 本

(イ) 植物の収集及び栽培管理

名 称	内 容
展示・保存植物の維持、充実	計画的な増殖や種子・種苗の交換などにより、展示植物や保存植物の維持、充実を図った。
栽培下における増殖	サクラソウ、ハナショウブ類など希少な植物や、球根ベゴニアやフクシアなど周年展示している展示上重要な植物の増殖を行った。
種 子・種 苗 の 交 換	国内外の植物園などと種子の交換を行い、多くの植物を収集して、貴重な種の保存を行うとともに、育苗して植栽・展示し、植物に関する知識の普及を図った。 譲受け：2か国 2か所 7種 譲渡し：国内2施設 7種
種 苗 の 導 入	ランの原種やサボテンなどの珍しい植物のほか、市場などの情報調査によって、季節ごとに展示する魅力ある植物を導入した。
植 物 の 栽 培 管 理	生育状態を良好に保ち、病害虫被害の発生を未然に防ぐため、品種ごとに灌水、施肥、剪定、温度・湿度の管理、必要に応じた薬剤散布などを適切に行い、栽培環境の向上を図った。

(ウ) 入園料の收受（利用料金制）

【入園状況】

有料入園者	区分				入園者数	使 用 料	
	個 人	大 人	18歳以上 65歳未満	510 円			
年間パスポート	個 人	大 人	65歳以上	170 円	32,135 人	16,388,850 円	
			小 人	18歳未満(小・中学生を除く)	170 円	12,524 人	
		大 人	18歳以上 65歳未満	1,560 円	386 人	2,129,080 円	
	年間 パス ポート	購 入	65歳以上	510 円	1,682 人	65,620 円	
			小 人	18歳未満(小・中学生を除く)	510 円	571,200 円	
		提 示	大 人	18歳以上 65歳未満	510 円	3,570 円	
			65歳以上	—	8,423 人	— 円	
			小 人	18歳未満(小・中学生を除く)	—	5,770 人	
	團 体	大 人	18歳以上 65歳未満	—	42 人	— 円	
			65歳以上	430 円	325 人	139,750 円	
		小 人	18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	70 人	9,100 円	
	優 待 割 引	大 人	18歳以上 65歳未満	130 円	0 人	0 円	
			65歳以上	430 円	0 人	0 円	
		小 人	18歳未満(小・中学生を除く)	0 人	130 円	0 円	
小 計				62,484 人	21,931,090 円		
減免等入園者（小・中学生、社会福祉施設、その他）				56,921 人	0 円		
合 計				119,405 人	21,931,090 円		

(エ) 利用促進

名 称	時 期	内 容	入園者数等
年間パスポートの販売 (動物園・植物園・昆虫館共同事業)	通 年	より多くの方に植物公園の魅力に触れる機会を提供するため、動物公園・昆虫館と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。 なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休園した日数については、利用期限を延長する対応を行った。	販売枚数 2,809枚
電動カートの運行	通 年	毎週土・日曜日、祝日に勾配のある園内の移動手段として、電動カートを運行し、入園者サービスの向上を図った。	6,150人
カープフォトラリー	4月1日 ～5月6日 3月26日	園内に配置したカープ選手看板と一緒に写真を撮影した入園者に景品を進呈した。	5,150人
青のネモフィラ花壇	4月1日 ～5月5日	近年人気の高いネモフィラで森のレストラン前花壇を青色に彩り、植物公園の魅力を向上させた。	21,562人
休園日の開園	4月2日 4月9日 7月21日 8月5日 11月5日 2月10日 2月25日	さくらまつり、サマーフェア、秋のグリーンフェア、春の特別ラン展期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上を図った。	554人 250人 252人 146人 533人 78人 467人 計 2,280人
さくらまつり	4月3日 ～4月18日 の土日 3月26日 ～3月31日	桜の見頃の時期に合わせ、桜観賞会や写真撮影講習会、コンサートなどのイベントを実施し、入園者の増加を図った。	6,081人 2,285人
夜間開園	4月3日 4月10日 8月21日 11月27日 12月4日 12月11日 12月18日 12月25日 3月26日	夜に開花する植物(オオオニバス・サガリバナ・月下美人)、夜に香る植物(夜香木、夜来香)、桜などのライトアップや、キャンドルとイルミネーションを使った幻想的な空間づくり、コンサートなどを行い、植物公園の魅力を向上させた。	夜間入園者数 (16時以降の入園者数) 773人 238人 92人 2,285人 2,468人 2,619人 1,881人 1,537人 71人 計 11,964人
入園者1,000万人記念イベント	4月19日	開園以来の総入園者数が1,000万人を迎えた日に1,000万人達成記念イベントを行った。	483人

名 称	時 期	内 容	入園者数等
みどりの日・植物園の日記念行事	5月4日	みどりの日と植物園の日を記念し、花苗のプレゼント、コンサートなど様々なイベントを実施した。	3,470人
サマーフェア	7月17日～8月1日	夏休み期間中を中心に、植物スタンプラリーやカブトムシ観察会、イベント広場や芝生広場での散水器具を使用した水遊びなどを実施し、入園者の増加を図った。	15,627人
秋のグリーンフェア	10月30日～11月7日	秋のグリーンフェアの会場として利用するとともに、期間中の入園料を無料とし、キッチンカーの出店や新規イベント等による入園者サービスの向上並びに入園者数及び収入（駐車料など）の増加を図った。	17,441人
開園記念日記念行事	11月3日	開園45周年を記念し、花苗のプレゼントや植物クイズラリー、コンサートなど様々なイベントを実施した。	4,198人
春の特別ラン展	2月19日～2月27日	大温室内にランの愛好団体や生産者による展示ブースを設けるとともに、洋ランを大規模に展示した。（新型コロナウイルス感染症拡大防止のため関連イベントは中止）	6,235人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 区民ウォーキング大会 in 植物公園（佐伯区役所共同事業）、サマーフェア（8月2日～8月31日）、夜間開園（8月28日、9月4日、11日、18日、19日）、バレンタインフェスティバル			

(オ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	入園者に安全・快適な観察環境を提供するため、グレーチングの改修等を行うとともに、園内の清掃・警備を継続した。また、温室などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	入園者が快適に観察できるよう、標識、リーフレットや園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
樹木ラベルの充実	通 年	樹木ラベルの追加・更新を行った。

(カ) 施設の機能充実

名 称	時 期	内 容
みどり生きものサポーター・植物公園募金等による施設の機能充実	通 年	植物を観察し学習できる場を入園者に提供するため、寄附金を募った。寄附金は次年度以降に繰り越し、全ての世代が植物観賞の合間も楽しく過ごせる環境づくりに充てていく予定である。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	件 数
都 市 に お け る 自 然 環 境 保 全 活 動	通 年	広島市の保存樹・保存樹林指定審査会などへ参加し、都市空間における自然環境保護の推進に寄与した。	1 件
希 少 植 物 の 保 護	通 年	(公社)日本植物園協会からの受入れ要請に基づき、ワシントン条約違反の任意放棄植物を保護した。	41 件 <small>(前年度からの継続含む)</small>

(イ) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生 息 地 に お け る 絶 滅 危 惧 植 物 の 保 全	通 年	世羅郡世羅町など広島県内の自生地において、絶滅に瀕したヤチシャジンやトウゴクサバノオ等の調査や保全活動を行った。	11 件

(ウ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	種 数 等
生息地以外における絶滅危惧植物の保全	通 年	野生ラン、ヤチシャジン、ヒゴタイなど、広島県内産種を中心に、日本の絶滅危惧植物を保全した。また、(公社)日本植物園協会の多様性保全拠点園事業に参加し、植物の多様性の保全に貢献した。	日本産 120 種 ワシントン条約 98 種
園芸植物遺伝子の保護	通 年	変化アサガオ、サクラソウ、ゼラニウムやバラの古い園芸品種など、保護が必要な園芸植物を栽培・保存した。(公社)日本植物園協会が行うナショナルコレクション検討委員会に参加し、植物の多様性の保全に貢献した。	66 種 約400 系統 検討会 1 件

(イ) 植物に関する調査・研究

名 称	時 期	内 容
植物に関する調査・研究	通 年	《植生調査》 主に県内の植物分布などの調査を行い、希少植物や分布上貴重な植物について、自生状況を記録するとともに保護に努めた。
		《成果の公表》 植物に関する調査・研究活動により得られた知見を学会や印刷物により公表した。
新 品 種 の 保 護	通 年	農林水産省からの依頼による、種苗法に基づく新規出願品種の現地調査員、種苗登録に関する基準案作成検討委員としての活動により、新品種の保護に努めた。
各 種 資 料 の 収 集	通 年	植物の標本及び植物に関する書籍・雑誌・資料を収集し、栽培や調査・研究に役立てた。
植 物 標 本 の 活 用	通 年	広島県内の植物標本庫における相互ネットワークを構築し広島大学などの県内の標本庫と情報交換を行った。
研 究 活 動 発 表 会 (動物園・植物園・昆蟲館共同事業)	2月12日 ～3月31日	栽培展示活動や調査研究活動などの成果を市民に情報提供了。新型コロナウイルス感染症の影響により、会場での開催（2月5日）は中止したが、2月12日から発表動画（録画）をYouTubeで公開した。

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件 数 等
講習会・研修会などの開催及び講師の派遣	通 年	団体の要請に基づいて、隨時、植物公園で講習会・研修会などを開催した。また、公民館、放課後児童クラブ等を対象に園外に出向き、講演や講習会などを開催した（出前講座）。	園内 5件 園外 13件
実習生の受入れ	通 年	大学生などを受け入れ、博物館実習（学芸員実習）を行った。	4件 6人
森の幼稚園を活用した保育者指導	10月3日	幼児教育の専門家を招き、保育者等を対象とした自然体験プログラムの指導を行った。	10組 30人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 森の幼稚園を活用した保育者指導（6月6日）			

(イ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	活動者数等
植物解説ボランティア	通 年	園内で植物解説活動に当たるボランティアを育成し、活動内容の充実を図った。 (解説ボランティア: 57人)	活動延べ人数 341 人
	通 年	園内で植物管理に当たるボランティア(対象: 植物友の会会員)を育成し、活動内容の充実を図った。 (管理ボランティア: 116人)	活動延べ人数 89 人
地域団体などとの協働	通 年	造幣局広島支局「花のまわりみち」の桜樹育成指導や文化活動などにより、地域の活性化を図った。	13 件 《内訳》 造幣局桜講習会 3 件 造幣局桜会議 3 件 桜花アート会外 6 件 広島県ラン展 1 件
グリーン・レガシー・ヒロシマへの協力	通 年	被爆樹木の種子を国内外の都市へ送付する活動に対し、種子の保存や送付の協力を行った。	34 件

【愛好者団体による展示会】

名 称	時 期	内 容
「草木染の世界」展	4月1日 2月26日 ~3月31日	草木を使った染物と染色に利用される植物などを展示し、作品などについて解説した。
ボタニカルアート教室作品展	4月3日 ~5月5日	ボタニカルアート(植物細密画)教室の作品を展示了。
エビネ展	4月24日 ~4月27日	日本の野生ランの中で最も美しいといわれ、花色の多いエビネを展示了。
春の山野草展	4月24日 ~4月29日	春咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示了。
クレマチス展	5月1日 ~5月6日	テッセンやカザグルマの名で親しまれる色とりどりの大輪の花が美しいクレマチスの仲間を展示了。
冬虫夏草展 ~瀬戸内虫草団となかまたち~	6月21日 ~7月25日	昆虫やクモ、ダニ等に寄生してその体内に子実体(菌糸の集合体)を形成する特殊な生活環境をもつ冬虫夏草を紹介した。
秋の山野草展	10月2日 ~10月7日	秋咲きの山野草を野趣あふれる鉢作りで展示了。
私の好きな花たちの写真展	10月2日 ~10月11日	身近な植物を題材とした写真とアンティークのカメラを展示了。
サボテン展	10月9日 ~10月24日	変化に富んだサボテンや多肉植物を展示了。
野生きのこ展	10月16日 ~10月24日	広島県に自生する様々なきのこを展示了。

名 称	時 期	内 容
ガーデニングコンテスト作品展	10月23日～11月3日	一般公募によるコンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを展示した。
ハンギングバスケット展	10月23日～11月3日	ハンギングバスケットを展示し、作り方などを紹介した。
趣味のボタニカルアート展	10月30日～11月28日	ボタニカルアート(植物細密画)を展示した。
寒 蘭 展	11月10日～11月15日	東洋蘭の中でも特に清楚で気品のある寒蘭を展示した。
新春小品盆栽展	1月4日～1月6日	松・竹・梅など、新春を飾るにふさわしい植物を小鉢仕立てで展示した。
植物写真コンテスト作品展	1月15日～1月25日	園内の植物や風景をテーマに募集した植物写真コンテストの入賞作品を展示了。
カカオとチョコの秘密展	1月29日～2月24日	チョコレートの歴史と作り方、カカオの秘密をパネルで紹介した。
おもと(万年青)名品展	2月9日～2月15日	葉の斑入り模様や形の変化が面白い万年青を展示了。

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】
 セッコク・長生蘭展、遅咲きクレマチス展、初夏の小品盆栽展、ウチョウラン展、
 冬虫夏草展～瀬戸内虫草団となかまたち～（6月19日、20日）、フラワーデザイン展

(ウ) 植物友の会の活動

会員内訳（個人会員：80人、家族会員：16家族36人）

名 称	時 期	内 容	参加者数
会 誌 の 発 行	年4回	植物の話題や友の会の活動、植物公園の出来事などを載せた会誌「はなの輪」を発行した。	春号 500冊 夏号 500冊 秋号 500冊 冬～初春号 500冊
広島市植物公園 植物友の会例会	7月18日	夏の園芸作業、見ごろの植物解説	20人
	11月15日	秋の園芸作業、見ごろの植物解説	33人
	3月27日	春の園芸作業、見ごろの植物解説	32人

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】
 野外観察会

(エ) 講座その他催し物の開催

a 講座

名 称	時 期	内 容	参加者数
ガーデニング講座 ～基礎から応用まで～	4月17日	多肉植物（エケベリア等）の寄せ植え	20人
	11月27日	初冬のハンギングバスケット製作	14人

名 称	時 期	内 容	参加者数
暮らしへ役立つハーブ講座 (3回講座)	11月13日	レモングラスの魅力など	19人
	11月20日	キッチンハーブの魅力など	19人
	12月4日	アロマ、美容のハーブなど	18人

b 講習会・実演会

名 称	時 期	内 容	参加者数等
さくら写真撮影講習会	4月3日 4月11日	初心者向けにサクラの写真の撮り方を解説した。	16人 8人
エビネ実演会	4月25日	エビネの育て方を実演解説した。	25人
春の山野草実演会	4月25日	春の山野草の栽培方法を実演解説した。	29人
クレマチス実演会	5月2日	クレマチスの育て方を実演解説した。	27人
植物写真撮影講習会	10月2日	植物の写真の撮り方を解説した。	18人
秋の山野草実演会	10月3日	秋の山野草の栽培方法を実演解説した。	27人
花と緑の講習会	11月	秋のグリーンフェア期間の平日にミニ講座を行った。	合計 52人
バラの楽しみ方	11月1日	秋のバラの管理について解説した。	10人
ベゴニアの楽しみ方	11月2日	ベゴニアを上手に育てる方法を解説した。	10人
山野草の楽しみ方	11月4日	山野草の育て方を解説した。	15人
食虫植物の楽しみ方	11月5日	食虫植物の育て方、増やし方を解説した。	17人
季節の園芸講座	11月6日	NHK「趣味の園芸」講師を勤めている本園職員が、季節を彩る草花を充分に楽しむためのとおきの方法を解説した。	32人
寒蘭実演会	11月14日	寒蘭の育て方を実演解説した。	16人
クリスマスリース作り講習会	11月21日	クリスマスリースの作り方を解説した。	30人
小品盆栽実演会	1月5日	小品盆栽の仕立て方、育て方を実演解説した。	21人
洋ラン栽培講習会	3月20日	展示に使用したランを使った講習会を開催した。	83人
シイタケ栽培講習会	3月21日	シイタケの植菌とその後の管理方法を解説した。	35組50人

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】

セッコク実演会、趣味のボタニカルアート展ギャラリートーク、ハーブ実演会、バラ講習会、
アジサイ実演会、小品盆栽実演会（6月12日）、ハナショウブ実演会、季節の園芸講座（6月27日、
9月4日）食虫植物実演会、植物写真撮影講習会（9月19日）、おもと（万年青）実演会、
カカオニブ磨碎実演会、フラワーデザイン実演会、洋ラン実演会、草木染講習会

c 講演会・展示解説

名 称	時 期	内 容	参加者数
アリ植物講演会	7月24日	7~8月に計画したアリ植物の展示に合わせ、魅力をより深く理解していただくため、アリ植物の専門家による講演会を開催した。	25人
ミツバチと蜜源植物講演会 特別企画展講演会	7月31日	ミツバチの特徴や恵みなどを昆虫館の職員がわかりやすく解説した。	45人
サボテン展解説	10月16日	サボテンの育て方とサボテン展について解説した。	30人
ガーデニングコンテスト 受賞作品解説	10月24日	ガーデニングコンテストの受賞作品について解説した。	12人
植物公園コレクション展 ギャラリートーク	12月12日	企画展「植物公園コレクション展」の展示内容を解説した	6人
植物公園コレクション展 記念講演会	12月18日	企画展「植物公園コレクション展」を記念し、植物公園の植物コレクションについての講演会を行った。	30人

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】

ハーブ展解説、特別企画展ギャラリートーク、変化朝顔展解説、薬用植物展解説、カカオニブ講演会、「草木染の世界」展ギャラリートーク

d コンクール

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ラン審査会	4月28日 10月30日 2月18日	ランの栽培技能の向上を図るため、ラン展示協力団体から出品されたランを審査し、優秀作品を表彰した。	20人 105点 20人 76点 39人 286点
ガーデニングコンテスト	9月1日 ~10月9日	コンテナガーデン(花の寄せ植え)とハンギングバスケットを一般公募し、優秀作品を表彰した。	応募 46点 入選 16点
植物写真コンテスト	9月1日 ~11月30日	植物公園の植物や園内風景を題材とした写真を募集し、優秀作品を表彰した。	応募 373点 入選 43点
写生大会 (佐伯区役所共催)	3月13日	植物公園の植物や園内風景を題材とした写生大会を実施し、優秀作品を表彰した。	応募 138点 入選 18点

e 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数
職 員 に よ る 植物 うんちく語り	4月13日	園内のサクラ	17人
	4月24日	新緑は「緑」に限らない!	33人
	7月13日	木立性ベゴニアと根茎性ベゴニア	21人
	7月24日	夏の花壇と鉢植え植物	25人
	10月19日	秋の花と蝶の世界	9人
	10月23日	躍動する乾燥地の植物	27人
	11月9日	秋バラ	28人
	11月27日	紅葉は「紅(あか)」に限らない!	33人
	12月14日	クリスマスの植物	26人
	12月25日	植物の名づけ方・見分け方(和名・学名)	27人
	3月8日	球根ベゴニアとセンパフローレンス	26人
	3月26日	身近な有用植物(繊維・染料他)	8人
園 内 生 き 物 探 訪	7月 10~11月	外部講師及び本園職員による生き物(カブトムシ、冬虫夏草、鳴く虫、きのこ、アサギマダラ等)観察を行った。	合計 846人
冬 虫 夏 草 観 察 会	7月25日	園内に発生する冬虫夏草を散策しながら観察した。	31人
き の こ 観 察 会	10月23日	園内に自生するきのこを散策しながら観察した。	20人
みどりとむし講座 (植物園・昆虫館 共 同 事 業)	7月 10~11月	昆虫の観察を通して、昆虫が集まる植物の紹介や昆虫の特徴、育て方について、昆虫館の職員と一緒に解説した。	合計 795人
カブトムシと クワガタムシ	7月22日	カブトムシ、クワガタムシが集まる植物の紹介や説明、昆虫の特徴や育て方を解説した。	70人
アサギマダラ 観 察 会	10月16日	園内に飛来するアサギマダラとその吸蜜植物フジバカマについて解説した。	14人
秋の鳴く虫観察会	10月16日 10月17日 10月23日 10月24日	スズムシやコオロギをはじめとする秋の鳴く虫を食草とともに展示し、鳴き声も紹介した。(昆虫館職員による解説は左記の4日、展示は10月16日~10月24日を通して実施。)	148人 (4日間の対応者)
どんぐりと虫	10月17日	森林公園でドングリとその樹木に関係する昆虫について観察・解説した。	23人

名 称	時 期	内 容	参加者数
カブトムシや クワガタムシの観察	11月1日 11月2日 11月4日 11月5日	昆虫館の協力により、秋のグリーンフェア期間の平日にヘラクレスオオカブトムシやニジイロクワガタなど、外国産のカブトムシやクワガタムシを展示し、これらの虫が好む環境等を解説した。	540人 (4日間の対応者)
うらら池よもやま話	7月17日	うらら池やロックガーデンの野生植物や、地域の歴史を解説した。	11人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆 虫 館 共 同 事 業)	10月2日	自然に関する理解を深めるため、動・植物や昆虫を観察した。	31人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】			
うらら池よもやま話(5月8日)、職員による植物うんちく語り(5月11日、5月22日、6月8日、6月26日、8月10日、8月28日、9月14日、9月25日、1月11日、1月22日、2月8日、2月26日)、園内生き物探訪(モリアオガエル観察会)、野鳥観察会のすすめ、			

f 植物教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ジュニアプロジェクト	4月11日 11月15日	ガイドボランティアが園内の植物や自然を通じて、植物や環境について楽しく学べる自然体験プログラムを実施した。	99人 34人 計 133人
オリエンテーリング	5月4日 7月17日 ~8月26日 11月3日	みどりの日にスタンプラリー、サマー フェアと開園記念日にクイズラリーを開催し、参加者に記念品を進呈した。	800人 2,367人 800人 計 3,967人
オオオニバス試乗体験会	8月11日	小学生(低学年)以下を対象に、オオオニバスの葉に乗る体験会を実施した。(大雨警報・土砂災害:レベル4避難指示発令による臨時休園で8月14日、8月15日、8月17日は中止)	199人
森 の 幼 稚 園	10月3日	幼児と保護者を対象に園内の植物や自然を通じて、楽しく学ぶ機会を提供した。	10組30人
バオバブタッチングイベント	11月6日	大温室のシンボルツリーであるオーストラリアバオバブをタッチできるイベントを開催した。	850人
コスモスの摘み取り	11月7日	レストラン前のコスモス畑で来園者にコスモスを摘み取り、持ち帰ってもらった。	193組410人
植物ガイド(寄附者対象)	12月18日	植物への理解を深めるため、夜間開園の特別公開日等に、夜咲く花、香る花など特徴ある植物等について解説した。	1組 (招待状送付3名)

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】
 お茶会、親子植物体験教室、オリエンテーリング（2月19日～2月27日）

(オ) 学校教育活動の受入れ

名 称	時 期	内 容	件 数 等
自然体験学習の受入れ	通 年	保育園、幼稚園、小・中学校が行う自然体験学習を受け入れるほか、オリエンテーリングの相談に応じ、植物や自然保護などについて解説した。	10件 532人

(カ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
ゼラニウム展	4月1日 ～4月18日 3月5日 ～3月31日	多彩な花色と葉の模様・色が美しいゼラニウムや、豪華なペルゴニアなどを展示した。
サクラソウ展	4月10日 ～4月21日	花の形や色の変化に富むサクラソウを展示した。
春の洋ラン展	4月29日 ～5月6日	春咲きのランの原種や交配種を展示し、ランの魅力を紹介した。
アジサイ展	6月21日 ～7月4日	花の色の変化に富むアジサイの原種、園芸品種などを展示した。
夏のカラフルリーフ展	6月23日 ～7月13日	斑入り植物や様々な色の葉を持つ植物を展示した。
アリと生きる植物展	7月17日 ～8月1日	植物体内にアリを住まわせ共生しているアリ植物を、アリ等の小動物を育つための栄養としている食虫植物の展示会とタイアップして企画展示し、植物と動物との関係を紹介し、より多くの市民が生きものに対する関心を深める機会を提供した（世界の食虫植物展との同時開催）。
世界の食虫植物展	7月17日 ～8月15日	ハエトリグサやウツボカズラなど、子どもたちに人気のある世界の食虫植物を展示した。
特別企画展 「ミツバチと花の “おいしい”関係展」	7月31日 ～8月26日	ミツバチの生態の紹介やミツバチが訪れる蜜を産する植物（蜜源植物）との関わりに焦点を当てた企画展を開催した。
変化朝顔展	8月21日 ～8月26日	花や葉が変化した珍しいアサガオを展示した。
キク展	10月23日 ～11月14日	日本と中国の交流の証である中国の菊花や日本園芸菊などを展示した。
秋の洋ラン展	10月30日 ～11月7日	カトレヤやパフィオペディルムなど洋ランの園芸品種と珍しい原種を展示した。

名 称	時 期	内 容
クリスマスを飾るフラワー展	11月20日 ～12月25日	シクラメンやポインセチア、クリスマスベゴニアなど、クリスマスでよく使われる植物や飾りを展示した。
植物公園コレクション展	12月4日 ～12月26日	植物公園がこれまでに収集した植物の魅力を写真や資料、パネル等を使い紹介した。
冬 の 鉢 花 展	1月8日 ～2月6日	シクラメンやサイネリアをはじめとする冬の鉢花を展示し、品種や栽培方法などをパネルで解説した。
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 ローズフェスティバル、ハーブ展、セントポーリアとイワタバコの仲間展、ハナショウブ＆アジサイまつり、薬用植物展		

(キ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数 等
マスコミによる広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社などを通じて、植物の見頃の時期や催し物などについて毎月、珍しい植物の開花状況などについては随時、広報した。	テレビ 49 件 ラジオ 13 件 新聞 19 件 情報誌等 138 件 計 219 件
催し物案内ポスター・P R 用チラシの配布	通 年	催し物案内ポスターやP R用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	ポスター 622 か所 チラシ 1, 412 か所
植物写真パネルなどの貸出し	通 年	植物や園内風景などを撮影した写真パネル・画像データを公共施設や事業所などに貸し出し、植物公園のP Rを図った。	6 か所 87 点
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	アクセス件数 159, 793 件
Twitter による広報	通 年	Twitterにより施設の紹介、催し物、開花状況などの最新情報を提供した。	フォロワー数 1, 863 人
メールマガジンの配信	6月末まで	催し物、開花状況などを、登録した読者のパソコンや携帯電話に配信した。（役割をSNSに継承し、6月末で終了）	登録件数 178 件
有料の広告媒体による広報	3月	イベントチラシの新聞折込等を行った。	1 社
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 マツダスタジアムにおけるP R活動			

(ク) 出版物の発行

名 称	内 容	発行部数
「栽培記録」		500 部
「栽培の手引き」		Web で提供
「植物観察ノート」		Web で提供
「種子目録」		電子メールで提供
広報誌「はなの輪」	各種の出版物を発行、配布して、国内外の植物園、大学、各関係機関との交流を深め、植物公園事業の発展を図るとともに、植物に関する知識の普及及び植物公園事業の周知を図った。	1,500 部

(ケ) 植物に関する相談

名 称	時 期	内 容	件 数
植物園芸相談	通 年	植物の栽培方法など植物に関する相談等を受けて助言、指導した。	1,306 件

④ 昆虫館の管理運営〔公2事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けた昆虫館における昆虫の飼育・展示、収集及び飼育管理、入館料の収受、施設の維持管理などを行い、入館者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

新型コロナウイルス感染症対策として、マスク着用、手指消毒、三密回避などをお願いするとともに、手すりなど接触部分の消毒等を行った。なお、広島市からの要請で令和3年5月8日～6月20日、令和3年8月3日～9月30日まで臨時休館した。このほか、令和3年8月の大雨による漏水により天井壁材が館内数カ所で剥離落下し、漏水原因調査等のため、令和3年10月1日～令和4年3月31日までの期間、臨時休館となった。休館中は、SNSやホームページ等により、昆虫及び館内施設に関する情報発信を積極的に行うなど、再開時における利用促進につながる活動に取り組んだ。

また、他団体との連携や調査・研究の成果を生かして、希少昆虫の生息域内外保全に積極的に取り組み、生物多様性の保全に貢献するとともに、社会教育、学校教育活動への協力、催し物の開催など各種事業を植物公園、安佐動物公園、こども文化科学館、江波山気象館、公民館等と協働して実施し、昆虫に関する知識及び昆虫愛護思想の普及、かん養並びに昆虫愛好者の育成を図った。

ア 昆虫の飼育・展示など

(ア) 昆虫の飼育・展示

〔展示場所〕 主な展示昆虫		内 容
「パピヨンドーム」	チ ョ ウ 類	年間を通して亜熱帯の花が咲く温室に、オオゴマダラ、クロテンシロチヨウ、リュウキュウムラサキなど、常時10種500頭以上の沖縄産の美麗な種を中心に放蝶し、吸蜜、飛翔、求愛、交尾、産卵などチョウの様々な行動を目の当たりに観察できる展示を行った。チョウが観察しやすいよう、景観の改修にも努めた。
	イトトンボ類	モノサシトンボ、キイトトンボなどのイトトンボ類の安定した累代飼育に取り組んだ。
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した展示】 ホウジャク類 ※臨時休館中は、いつでも再開できるよう安定した累代飼育の維持に努めた。		

〔展示場所〕 主な展示昆虫		内 容
〔昆虫 ラン ド〕	外 国 产 昆 虫	ヘラクレスオオカブトムシ、ニジイロクワガタ、ハナカマキリ、オオコノハムシ、ジャイアントウッドローチなど、子どもに人気のある外国産昆虫を展示した。
	陸 生 昆 虫	クワガタ類、カブトムシ、タイワンクツワムシ、スズムシ、マイマイカブリなど夜に活動する昆虫を照明により昼夜を反転させて展示した。
	昼 行 性 昆 虫	クロカタゾウムシ、モリバッタ、ツダナナフシなど昼に活動する昆虫を展示した。
	水 生 昆 虫	ゲンゴロウ、タガメなどの水生昆虫をそれぞれの生息環境にすむその他の水生生物（オタマジャクシ、魚類、甲殻類）とともに展示した。
	社 会 性 昆 虫	巣を再現した専用テラリウム内でオオシロアリ、エゾヤマアカアリなど、巣を作り社会生活をする昆虫群を展示した。
	昆 虫 以 外 の 陸 生 節 足 动 物	同じ節足動物に属し、昆虫と間違えやすいタランチュラ、サソリ、サソリモドキなど、昆虫以外の陸生節足動物を展示した。
	なつかしい身近な生き物	40代以上の人人が子どものころ遊びのなかで出会っていたアメリカザリガニ、ダンゴムシ、イモリなどの昆虫以外の小動物を展示した。
〔 暴 ケ ト シ〕	広島県の希少昆虫	広島県のみに生息する絶滅危惧昆虫のヒョウモンモドキ約50頭を、発生時期である6月に展示した。
<p>【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した展示】 旬の昆虫「季節の昆虫（テントウムシなど）」「外来昆虫（ムネアカハラビロカマキリなど）」</p> <p>【大雨被災による臨時休館により中止した展示】 旬の昆虫「季節の昆虫（ツチイナゴなど）」「外来昆虫（キマダラカメムシなど）」 ※臨時休館中は、いつでも再開できるよう安定した累代飼育の維持に努めた。</p>		

【昆虫等の飼育頭数】

(令和4年3月31日現在)

区 分	種 類	頭 数
チョウ類など(パピヨンドーム)	14種	647頭
外 国 产 昆 虫	60種	643頭 1群
夜 行 性 昆 虫	27種	322頭
昼 行 性 昆 虫・旬の虫	27種	364頭 16群
水 生 昆 虫	11種	54頭
昆 虫 以 外 の 陸 生 節 足 动 物	5種	13頭
なつかしい身近な生き物	5種	90頭
合 計	149種	2,133頭 17群

(イ) 昆虫の収集及び飼育管理

名 称	内 容
展示昆虫の維持及び種の保存	計画的な採集や交換などにより、累代飼育を適正に行い、展示昆虫を維持するとともに、保護が必要な昆虫を飼育し、種の保存に取り組んだ。
近交弱勢防止のための チョウその他の昆虫の採集	累代飼育の結果生じる近交弱勢を防止するため、年に数回、広島県や沖縄県などでチョウその他の昆虫を採集した。
昆 虫 の 交 換	近交弱勢などの防止及び展示種の充実のため、他の昆虫展示施設と昆虫を交換した。 譲受け：アカボシルリゴキブリなど6種 譲渡し：ニジイロクワガタなど9種
チ ョ ウ そ の 他 の 昆 虫 の 累 代 飼 育	他の動物に比べ比較的寿命の短い昆虫を周年展示するために、チョウ類約17種、その他の昆虫等約200種を累代飼育した。
変わりゆく自然環境の 調 査 と 情 報 発 信	地球温暖化や開発等により変わりゆく自然の中にある昆虫の生態の現状を把握するため、生息地の継続調査や希少昆虫の飼育を行った。成果は、昆虫施設等連絡協議会やYouTubeで情報発信した。
外 国 产 昆 虫 の 導 入 と 飼 育	ヨウカイカマキリ等の新たな種を導入した。パプアキンイロクワガタ等外国産カブト・クワガタ類の累代飼育の確立に努めた。
「簡易繁殖場」における カブトムシの繁殖	昆虫好物樹木園等に設けている簡易繁殖場2カ所でカブトムシ・クワガタムシの自然繁殖が確認された。
昆 虫 の 飼 育 管 理	成育状態を良好に保つため、温度・湿度の管理のほか、チョウその他の昆虫の飼育及び展示に不可欠な蜜源植物及び食草を周年栽培・維持管理し、飼育環境の向上を図った。

(ウ) 入館料の収受 (利用料金制)

【入館状況】

区分				入館者数	使用料	
有料入館者	個人	大人	18歳以上65歳未満	510 円	6,823 人	
			65歳以上	170 円	635 人	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	170 円	55 人	
	年間パスポート	大人	18歳以上65歳未満	1,560 円	334 人	
			65歳以上	510 円	15 人	
			18歳未満(小・中学生を除く)	510 円	0 人	
		大人	18歳以上65歳未満	—	2,236 人	
			65歳以上	—	121 人	
			18歳未満(小・中学生を除く)	—	0 人	
	団体	大人	18歳以上65歳未満	430 円	49 人	
			65歳以上	130 円	0 人	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	0 人	
優待引	大人	18歳以上65歳未満	430 円	0 人	0 円	
		65歳以上	130 円	0 人	0 円	
		小人	18歳未満(小・中学生を除く)	130 円	0 人	
小計				10,268 人	4,146,790 円	
減免等入園者(小・中学生、社会福祉施設、その他)				13,046 人	0 円	
合計				23,314 人	4,146,790 円	

(エ) 利用促進

名称	時期	内容	販売枚数等
外国人観光客誘致の促進	通年	コロナ禍で直接の誘致は行わなかったが、英文リーフレットを森林公园内・昆虫館内、P.A.に設置し、外国人へのサービス向上を図り、入館者増に努めた。	発行部数 500部
年間パスポートの販売 (動物公園・植物公園・昆虫館共同事業)	4月1日 ~5月7日 6月21日 ~8月2日	動物公園・植物公園と共に利用できる年間パスポートを販売し、利用者に対するサービスの向上及びリピーターの確保を図った。なお、新型コロナウイルス感染拡大防止のため臨時休園した日数については、利用期限を延長する対応を行った。	349枚
休館日の開館	4月7日 4月14日 5月6日 7月21日 7月28日	花見シーズン、夏休み期間の休館日を開館し、利用者に対するサービスの向上を図るとともに、入館者増に努めた。	入館者数 372人

(オ) 施設の維持管理・館内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	入館者に安全・快適な観覧環境を提供するため、館内の清掃・警備を行った。また、建物や機械・電気などの設備を良好な状態で使用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
展示解説の充実	通 年	昆虫の魅力や希少昆虫の現状を伝えるための展示解説板を、様々な年齢層を対象とするためにイラストを多数用いた内容で常時更新した。
利 用 案 内	開館日	入館者が快適に観覧できるよう、標識、リーフレット、館内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	開館日	傷病者の救護、迷子の搜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
入館者への涼感サービスの提供	7月	夏期の暑さ対策として、昆虫館玄関前広場及びパピヨンドーム内にミスト発生装置を設置した。

(カ) 施設の機能充実

名 称	時 期	内 容
みどり生きものサポーター・昆虫館 募 金 等 に よ る 施 設 の 機 能 充 実	通 年	より魅力的な施設を入館者に提供するため、寄附金を募った。寄附金は次年度以降に繰り越し、昆虫好物樹木園の整備等に充てていく予定である。

イ 生物多様性の保全

(ア) 他団体との連携

名 称	時 期	内 容	件 数
保護活動に関する情報交換	通 年	環境省、広島県、三原市、廿日市市と連携してミヤジマトンボ、ヒョウモンモドキの調査や生息地の環境保全活動や情報交換等を行った。	ミヤジマトンボ 1件 ヒョウモンモドキ 2件

(イ) 生息域内保全

名 称	時 期	内 容	件 数
生息地における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	昆虫館ボランティアとの協働で赤トンボ類の調査を行った。	東広島市志和 1件

(ウ) 生息域外保全

名 称	時 期	内 容	内訳等
生息地以外における絶滅危惧昆虫の保全	通 年	広島県のみに生息し、絶滅危惧Ⅰ種に指定されているヒヨウモンモドキ、ミヤジマトンボの生息地の環境整備を行うとともに、館内で累代飼育し、幼虫を生息地に放虫するなど、保全に取り組んだ。また、ヒヨウモンモドキは、6月には専用ケージで成虫の生体展示を行った。更に、絶滅危惧昆虫の現状について講演会等で情報発信を行った。	<ヒヨウモンモドキ> 調査 4・10月 生息域外展示 6月 環境整備 10月 放虫 600個体 <ミヤジマトンボ> 調査 6月 環境整備 10月 放虫 200個体

(エ) 昆虫に関する調査・研究

名 称	時 期	内 容
昆虫に関する調査・研究	通 年	広島県、沖縄県などで、昆虫の種類や数の調査、採集を行い、ヒヨウモンモドキなどの希少昆虫や分布上貴重な昆虫の生息状況を記録した。また、採集した昆虫を飼育して累代飼育の確立のための研究を行うとともに、採集した昆虫の一部を標本資料として保管した。
各種資料の収集	通 年	昆虫に関する書籍・雑誌・資料を収集し、累代飼育などの調査・研究に役立てた。
研究活動発表会（動物園・植物園・昆虫館共同事業）	2月12日～3月31日	昆虫の飼育展示活動などの成果を市民に情報提供した。新型コロナウィルス感染症の影響により、会場での開催（2月5日）は中止したが、2月12日から発表動画（録画）をYouTubeで公開した。

ウ 教育・普及

(ア) 社会教育への協力

名 称	時 期	内 容	件数等
講習会・観察会への講師の派遣	通 年	公民館、その他の公共施設などが実施する昆虫及び自然環境に関する講習会・自然観察会に職員を講師として派遣した。	14件 215人
大学との連携	11月29日	博物館資料論の講師として職員を派遣した。	1件 34人

(イ) 学校教育への協力

名 称	時 期	内 容	件数等
出張自然体験活動	通 年	命の大切さを伝えるため、保育園・幼稚園、小学校に職員を派遣し、昆虫とのふれあい体験を行った。	19件 2,163人
教 材 の 提 供	6月10日 1月14日 2月7日 2月25日	県立教育センターの要請に基づいて、教材として利用できる昆虫の抜け殻や寿命を全うしたカブトムシ等を提供した。 新型感染症防止対策により、出張自然体験活動が中止になった保育園等へ、教材としてチョウのはねを提供した。	4件
総合的な学習時間の支援	7月15日 11月16日 1月28日	小・中学校に職員を派遣し、昆虫及び自然環境をテーマとした総合学習の指導を行った。 また、不登校児を対象に昆虫を題材にしたオンライン授業の講師を務めた。	3件 143人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 教材生物バザールへの参加…資料の提供は行った。			

(ウ) 市民・団体との協働

名 称	時 期	内 容	参加者数等
まんかい桜むしみくじ (森林公園・昆虫館 共 同 事 業)	4月1日 ~4月18日	園内にある桜と昆虫おもしろ話の解説が付く春の運勢を占うおみくじを配布した。	611人
昆虫館ボランティア	4月24日 10月9日 11月13日	ボランティアを募り、自然や昆虫に関する専門知識を指導し、広島県内の希少昆虫の保護活動や調査等を行った。 (ボランティア総数17人)	活動回数 3回 活動延べ人数 21人
YouTubeコラボ配信 (江波山気象館 共 同 事 業)	5月29日 9月11日 1月29日 3月19日	「天気と虫の初夏の話題」「天気と虫の話題」「天気と虫と冬の話題」「啓蟄と桜の話題」と題して、YouTube配信を行った。	19人 15人 18人 8人
虫 み く じ (森林公園・昆虫館 共 同 事 業)	2月6日 ~2月28日	昆虫おもしろ話の解説が付く新年の運勢を占う「虫みくじ」を配布した。新型感染症対策に伴い、イベント中止となった為、森林公園主導でHP上でおみくじが引けるシステムで公開した。	—
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 水辺の生きもの(森林公園・昆虫館共同事業) 【大雨被災による臨時休館により中止にした展示】 ハロウィン蟲の館(森林公園・昆虫館共同事業)、木の実・落ち葉で遊ぼう(森林公園・昆虫館共同事業)、森の七福神めぐり(森林公園・昆虫館共同事業)、バレンタインイベント(森林公園・昆虫館共同事業)			

(イ) 昆虫館友の会の活動

会員内訳（家族会員：19 家族 71 人）

名 称	時 期	内 容	参加人数等
野 外 観 察 会	5月2日	晩春の昆虫の観察を行った。	65人
	10月23日 10月24日	秋の昆虫の観察を行った。	43人
	11月14日	晩秋の昆虫と紅葉樹の観察を行った。	39人
講 習 会	12月5日 12月12日	カブトムシやクワガタムシの標本づくり教室を実施した。	40人
	3月13日	カブトムシの次世代幼虫を昆虫館に返却することを目標として、幼虫を配布し、飼育方法を解説した。	56人

(オ) 講演会その他催し物の開催

a 講演会

名 称	時 期	内 容	参加者数等
ミツバチのはなし (植物園・昆虫館 共 同 事 業)	7月31日	植物公園で開催したミツバチ展に併せて、ミツバチのくらし等を解説した。	45 人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】			
大人のための昆虫講座「ヒョウモンモドキ」、大人のための昆虫講座「ミヤジマトンボ」			
【大雨被災による臨時休館により中止にした展示】			
大人のための昆虫講座「広島県の絶滅危惧昆虫」			

b コンクール

名 称	時 期	内 容	参加者数等
むしむし写真コンテスト	(応募期間) 5月1日 ~10月31日	昆虫を題材とした写真コンテストを実施し、優秀作品を表彰した。優秀作品はWeb上で公開した。	応募者数 268 人 応募点数 943 点 入賞点数 37 点

c 観察会

名 称	時 期	内 容	参加者数等
虫 さ が し	4月17日 4月18日	昆虫館周辺及び樹木園で、家族を対象に、昆虫の観察と名前調べを行った。	26人 27人 計 53人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
カブトムシと クワガタムシ (植物園・昆虫館 共 同 事 業)	7月22日	【みどりとむし講座】 植物公園でカブトムシ・クワガタムシの観察と それらが集まる樹木について解説した。	70人
あおぞら自然観察会 (動物園・植物園・ 昆虫館共同事業)	10月2日	自然に関する理解を深めるため、五日市で動物・植物・昆虫の観察会を実施した。	31人
アサギマダラ観察会 (植物園・昆虫館 共 同 事 業)	10月16日	【みどりとむし講座】 植物公園でアサギマダラの観察とそれらが集まる花について解説した。	14人
秋の鳴く虫観察会 (植物園・昆虫館 共 同 事 業)	10月16日 10月17日 10月23日 10月24日	スズムシやコオロギをはじめとする秋の鳴く虫 を食草とともに展示し、鳴き声も紹介した。 (昆虫館職員による解説は左記の4日、展示は 10月16日～10月24日を通して実施。)	148人 (4日間の対応者)
どんぐりと虫 (植物園・昆虫館 共 同 事 業)	10月17日	【みどりとむし講座】 森林公園でドングリとその樹木に関係する昆虫 について観察・解説した。	23人
カブトムシや クワガタムシの観察 (植物園・昆虫館 共 同 事 業)	11月1日 11月2日 11月4日 11月5日	昆虫館の協力により、秋のグリーンフェア期間 の平日にヘラクレスオオカブトムシやニジイロ クワガタなど、外国産のカブトムシやクワガタ ムシを展示し、これらの虫が好む環境等を解説 した。	540人 (4日間の対応者)
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】			
樹木園ツアーアクセス			

d 昆虫教室その他催し物

名 称	時 期	内 容	参加者数等
むしむしクイズラリー	4月3日 4月4日	昆虫への興味と知識を楽しみながら深められる、クイズラリーを実施した。	126人 42人 計 168人
飼育室ツアーアクセス	4月10日	普段は公開していない裏側を公開し、飼育や生体の維持管理について解説した。	35人
虫 講 座	4・7月	企画展の内容に合わせて、小学生からシニアまでを対象に、講座を行った。	合計 47人
幼虫いろいろ	4月25日	イモムシ毛虫型の幼虫の体のつくりや暮らしについて解説した。	21人
カブクワの採りかた	7月17日	外国産カブトムシ・クワガタムシの飼い方のコツと飼育マナーについて講座を行った。	26人
夏休み子ども昆虫相談	7月21日 ～8月31日	夏休みの自由研究の疑問点など、昆虫に関する相談を受けて助言、指導した。	10人

名 称	時 期	内 容	参加者数等
カブトムシクラブ	3月12日	カブトムシの飼育方法について解説するとともに、幼虫を配布して家庭で飼育してもらうための講座を行った。	56人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】			
昆虫館お仕事体験、飼育室ツアー（6月）、むしむしサマースクール、森の音楽会			
【大雨被災による臨時休館により中止にした展示】			
虫講座「カマキリ」、飼育室ツアー（11～3月、15回）、クリップバッタ選手権、クリスマス蜜蠟キャンドルづくり、ぱたぱたバタフライ			

(カ) 学校教育活動の受入れ

【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】
自然体験学習の受入れ、職場体験の受入れ
【大雨被災による臨時休館により中止にした事業】
自然体験学習の受入れ

(キ) 企画展その他展示会の開催

名 称	時 期	内 容
オモシロ幼虫大集合!!	4月24日 ～5月7日	シャチホコガやヘビトンボなど、姿や生態に特徴のある幼虫に注目し、昆虫の多様なくらし、成長の過程や一生などを、生体や写真を多く用いて展示解説した。
南の島のホタル	6月21日 ～7月4日	発光する沖縄産陸生ホタルの幼虫を暗くした会場で展示し、南の島の静かな夜の雰囲気を感じることができる癒しの空間を提供した。
世界のカブト・クワガタ	7月17日 ～8月2日	世界の生きたカブトムシ・クワガタムシを展示するとともに、標本や模型を用いて生態等を詳しく解説した。
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】		
秋の鳴く虫		
【大雨被災による臨時休館により中止にした展示】		
The カマキリ、むしむし写真コンテスト優秀作品展…Web 公開		

(ク) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件数等
マスコミによる広報	通 年	テレビ局、ラジオ局、新聞社、出版社、市広報紙課などを通じて、昆虫館の展示や催し物などの広報を行った。	新聞 2件 テレビ 8件 ラジオ 1件 雑誌 1件 市民と市政 2件 計 14件

名 称	時 期	内 容	件数等
保育園、幼稚園、小学校、その他の教育施設への学習利用の促進	通 年	保育園、幼稚園、小学校を訪問して、昆虫館で実施している社会教育活動を紹介した。	19件
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの最新情報を提供した。	アクセス数 62, 254件
Facebookによる広報	通 年	Facebookにより、施設の紹介、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。	更新回数 292件
Twitterによる広報	通 年	Twitterにより、催し物、展示昆虫や季節の昆虫などの情報を提供した。	更新回数 298件
オリジナルグッズの配布	通 年	各イベントに合わせ、昆虫シールや缶バッジなど昆虫館オリジナルグッズを配布し、昆虫館をPRした。	昆虫シール 30枚 缶バッジ 2, 000個
催し物案内ポスター・PR用チラシの配布	4~9月	催し物案内ポスターやPR用チラシを作製し、公共施設などに配布した。	チラシ(写真コンテスト) 200か所×1回
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 マツダスタジアムにおけるPR活動			

(ヶ) 出版物の配布

名 称	内 容	配布部数
「標本の作り方」「飼ってみよう」	身近な昆虫の飼い方や標本の作り方を分かりやすく解説したリーフレットを配布し、昆虫に関する知識の普及や昆虫館事業の周知を図った。	100部 100部
「昆虫館News」	昆虫館の魅力を市民に発信するため、飼育展示の裏話やイベント情報を掲載した冊子を発行、配布した。	1, 000部

(コ) 昆虫に関する相談

名 称	時 期	内 容	件数
昆 虫 相 談	通 年	昆虫の飼育方法や生態など昆虫に関する相談等を受けて助言、指導した。	459件

(2) 収益事業等

① 売店の運営など [収1事業]

ア 安佐動物公園等における売店の運営など

指定管理者として指定された次の施設の利用者の利便を図るため、売店、食堂などの経営を行った。

営業場所	内容
安佐動物公園	売店(2か所)における土産物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 ベビーカーの賃貸 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸
植物公園	売店(1か所)における土産物などの販売 売店(1か所)における植物などの販売 食堂(1か所)における飲食物の販売 喫茶(1か所)における飲食物の販売 臨時売店(3か所)における植物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸 電動スクーターの賃貸 観光望遠鏡の賃貸
昆虫館	売店(1か所)における土産物などの販売 自動販売機による清涼飲料水などの販売 コインロッカーの賃貸
中央公園(ファミリープール)	自動販売機による清涼飲料水などの販売 浮輪の賃貸
中央公園(定期観光バス等駐車場) 大芝公園交通ランド	自動販売機による清涼飲料水などの販売

イ 公益目的事業への繰入れ

緑のまちづくり事業、動物公園事業、植物公園事業、昆虫館事業等の推進を図るため、売店の運営等で得た収益を公益目的事業に繰り入れた。

② 公園及び公園施設の管理運営〔他1事業〕

広島市から指定（期間：平成30年4月1日～令和4年3月31日）を受けたファミリープールの入園料などの収受及び管理運営、中央公園の維持管理、交通ランド（大芝公園）のゴーカート使用料の収納事務及び維持管理並びに安佐動物公園、植物公園の駐車料の収受及び駐車場の管理運営を行い、入園者及び利用者が施設を安全かつ快適に利用できるよう努めた。

ファミリープールの運営では、新型コロナウイルス感染防止のため、入園人数制限や入園時の検温、消毒液の設置などを行った。また、入園人数制限による混乱を防止するため、ホームページやSNSで適宣、入園人数の現況を速報するなど、円滑な運営に取り組んだ。なお、広島市からの要請で令和3年8月27日から令和3年8月31日の閉園期日まで臨時休園した。このほか、台風接近により8月9日～10日も臨時休園した。

ア 中央公園（ファミリープールを含む）及び交通ランドの管理運営

(ア) 入園料などの収受及びゴーカート使用料の収納事務

a ファミリープール（利用料金制）

【入園状況】

区分			入園者数		使用料	
有料入園者	個人	大人	18歳以上65歳未満	790円	15,100人	
		大人	65歳以上	340円	375人	
		小人	小中・高校生及び18歳未満	340円	17,717人	
	団体	大人	18歳以上65歳未満	650円	24人	
		大人	65歳以上	270円	0人	
		小人	小中・高校生及び18歳未満	270円	21人	
小計				33,237人	18,101,550円	
減免等入園者（障害者、その他）				11,136人	0円	
合計				44,373人	18,101,550円	

【コインロッカー利用状況】

区分	利用回数	使用料
ロッカー利用（100円）	13,087回	1,308,700円

b 交通ランド

【利用状況】

区分		利用台数	使用料
ゴーカート	個人	1人乗り(1台1回100円)	14,867台
		2人乗り(1台1回150円)	29,233台
	団体	1人乗り(1台1回80円)	0台
		2人乗り(1台1回120円)	218台
	減免利用者 (高齢者、その他)	1人乗り(—)	531台
		2人乗り(—)	3,671台
合 計		48,520台	5,897,810円

(イ) 利用促進

名称	時期	内 容	参加者数等
ファミリープール 休園日の開園	8月6日	開園期間中の休園日を開園し、利用者に対するサービスの向上及び入園者の増加を図った。	入園者数 1,045人
【新型コロナウイルス感染症の影響により中止した事業】 ファミリープール前売券の販売、ファミリープールポイントカードの発行、 ファミリープールイベント開催			

(ウ) 施設の維持管理・園内サービス

名 称	時 期	内 容
施設の維持管理	通 年	利用者に安全・快適な利用環境を提供するため、園内の清掃・警備などを行った。また、管理棟などの建物、機械・電気などの設備やゴーカートを良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。
利 用 案 内	通 年	利用者が快適に施設を利用できるよう、案内標識や園内放送などにより利用案内を行った。
緊急時などの対応	通 年	傷病者の救護、迷子の捜索・保護、拾得物・遺失物の管理などを行った。
ファミリープール 入園者への涼感 サービスの提供	7月1日 ~8月26日	暑さ対策として、入園ゲート前と園内にミストファンを置き、入園者が涼しさを感じられるサービスを提供した。

イ 安佐動物公園及び植物公園の駐車場の管理運営

(ア) 駐車料の収受 (利用料金制)

a 安佐動物公園

【利用状況】

区分	台数	使用料
中・大型自動車等 (1,400円)	646台	904,400円
普通自動車等 (450円)	72,129台	32,458,050円
減免利用	1,491台	0円
合計	74,266台	33,362,450円

b 植物公園

【利用状況】

区分	台数	使用料
中・大型自動車等 (1,400円)	68台	95,200円
普通自動車等 (450円)	34,944台	15,724,800円
減免利用	1,217台	0円
合計	36,229台	15,820,000円

(イ) 施設の維持管理

名称	時期	内容
施設の維持管理	通年	利用者に安心・安全な利用環境を提供するため、駐車場内及び進入路における交通誘導や警備などを行った。また、立体駐車場などの建物や機械・電気などの設備を良好な状態で利用できるよう維持管理や小規模修繕を行った。

ウ 中央公園（ファミリープールを含む）における教育・普及

(ア) 水泳教室その他催し物の開催

名 称	時 期	内 容	参加者数等
中央公園 樹名板づくり	12月28日 ～3月31日	中央公園樹木の樹名板の作製を行う子どもを募り、作業を通じて樹木について楽しく学ぶ機会を提供した。また、この手作りの樹名板により公園利用者の関心を引き、樹木への理解や知識を深めた。	30人
【新型コロナウィルス感染症の影響により中止した事業】 ファミリープール水泳教室			

(イ) 広報普及

名 称	時 期	内 容	件 数 等
ホームページによる広報	通 年	ホームページにより、施設の紹介や催し物などの情報を提供した。	アクセス件数 124,695件
Twitterによる広報	通 年	Twitterにより、施設の紹介や施設利用者数などの情報を提供した。	投稿件数 417件
マスコミによる広報	通 年	テレビ局・新聞社・出版社などを通じて、催し物などの広報を行った。	テレビ 10件 新聞 2件 情報誌等 4件 計 16件
【新型コロナウィルス感染症の影響により中止した事業】 PR用チラシの作製及び配布			

7 事業報告の附属明細書
記載すべき事項はありません。

決 算 報 告 書

第2 決算報告書

令和3年度公益財団法人広島市みどり生きもの協会決算報告書
(令和3年4月1日から令和4年3月31日まで)

1 貸借対照表

貸 借 対 照 表

令和4年3月31日現在

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 資産の部			
1. 流動資産			
現金預金	331,363,421	297,314,127	34,049,294
未収金	2,641,939	9,608,047	△ 6,966,108
未取消費税	9,021,900	0	9,021,900
商品	9,027,645	9,241,688	△ 214,043
流動資産合計	352,054,905	316,163,862	35,891,043
2. 固定資産			
(1) 基本財産			
投資有価証券	112,000,000	112,000,000	0
基本財産合計	112,000,000	112,000,000	0
(2) 特定資産			
緑化基金積立資産	413,634,328	413,634,328	0
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	3,000,000	0
退職給付引当資産	36,326,749	34,866,103	1,460,646
減価償却引当資産	26,486,209	25,229,504	1,256,705
備品等購入資金積立資産	1,452,606	1,452,606	0
みどり生きものサポーター募金積立資産	2,013,719	2,044,457	△ 30,738
特定資産合計	482,913,611	480,226,998	2,686,613
(3) その他固定資産			
建物	1,490,000	1,490,000	0
建物減価償却累計額	△ 1,489,998	△ 1,489,998	0
構築物	2,764,650	2,764,650	0
構築物減価償却累計額	△ 1,965,962	△ 1,781,653	△ 184,309
車両運搬具	4,283,207	4,283,207	0
車両運搬具減価償却累計額	△ 4,283,202	△ 4,283,202	0
器具備品	25,971,093	25,146,093	825,000
器具備品減価償却累計額	△ 21,785,843	△ 20,654,075	△ 1,131,768
電話加入権	74,984	74,984	0
投資有価証券	245,824	219,382	26,442
その他固定資産合計	5,304,753	5,769,388	△ 464,635
固定資産合計	600,218,364	597,996,386	2,221,978
資産合計	952,273,269	914,160,248	38,113,021

(単位：円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 負債の部			
1. 流動負債			
未払金	180,587,675	83,604,307	96,983,368
未払消費税等	6,004,600	18,332,700	△ 12,328,100
未払法人税等	271,000	271,000	0
前受金	33,000	49,000	△ 16,000
賃掛金	6,479,510	5,784,936	694,574
預り金	9,004,036	7,304,491	1,699,545
賞与引当金	32,683,421	33,110,504	△ 427,083
流動負債合計	235,063,242	148,456,938	86,606,304
2. 固定負債			
退職給付引当金	505,621,406	474,911,173	30,710,233
長期預り金	591,750	1,689,460	△ 1,097,710
固定負債合計	506,213,156	476,600,633	29,612,523
負債合計	741,276,398	625,057,571	116,218,827
III 正味財産の部			
1. 指定正味財産			
広島市出資金	503,600,000	503,600,000	0
寄付金	2,013,719	2,044,457	△ 30,738
指定正味財産合計	505,613,719	505,644,457	△ 30,738
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)	(100,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(405,613,719)	(405,644,457)	(△ 30,738)
2. 一般正味財産	△ 294,616,848	△ 216,541,780	△ 78,075,068
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)	(12,000,000)	(0)
(うち特定資産への充当額)	(40,973,143)	(39,716,438)	1,256,705
正味財産合計	210,996,871	289,102,677	△ 78,105,806
負債及び正味財産合計	952,273,269	914,160,248	38,113,021

2 貸借対照表内訳表

貸 借 対 照 表 内 訳 表
令 和 4 年 3 月 3 1 日 現 在

(単位：円)

科 目	公益目的事業会計	収益事業等会計	法人会計	内部取引等消去	合 計
I 資産の部					
1. 流動資産					
現金預金	201,264,866	112,512,946	17,585,609		331,363,421
未収金	1,575,902	1,066,037			2,641,939
未消費税等	7,927,148	660,408	1,288,599	△ 854,255	9,021,900
商品		9,027,645			9,027,645
流動資産合計	210,767,916	123,267,036	18,874,208	△ 854,255	352,054,905
2. 固定資産					
(1) 基本財産					
投資有価証券	112,000,000				112,000,000
基本財産合計	112,000,000				112,000,000
(2) 特定資産					
緑化基金積立資産	413,634,328				413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000				3,000,000
退職給付引当資産		36,326,749			36,326,749
減価償却引当資産	1,703,309	24,782,900			26,486,209
備品等購入資金積立資産		1,452,606			1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	2,013,719				2,013,719
特定資産合計	420,351,356	62,562,255			482,913,611
(3) その他固定資産					
建物		1,490,000			1,490,000
建物減価償却累計額		△ 1,489,998			△ 1,489,998
構築物		2,764,650			2,764,650
構築物減価償却累計額		△ 1,965,962			△ 1,965,962
車両運搬具	1,703,310	2,579,897			4,283,207
車両運搬具減価償却累計額	△ 1,703,309	△ 2,579,893			△ 4,283,202
器具備品	3,983,420	21,987,673			25,971,093
器具備品減価償却累計額	△ 3,038,796	△ 18,747,047			△ 21,785,843
電話加入権		74,984			74,984
投資有価証券	245,824				245,824
その他固定資産合計	1,190,449	4,114,304			5,304,753
固定資産合計	533,541,805	66,676,559			600,218,364
資産合計	744,309,721	189,943,595	18,874,208	△ 854,255	952,273,269
II 負債の部					
1. 流動負債					
未払金	139,588,145	32,262,390	8,737,140		180,587,675
未払消費税等	5,240,522	1,618,333		△ 854,255	6,004,600
未払法人税等		271,000			271,000
前受金	33,000				33,000
貿掛金		6,479,510			6,479,510
預り金	1,841,533	1,760,060	5,402,443		9,004,036
貸与引当金	27,542,693	2,710,487	2,430,241		32,683,421
流動負債合計	174,245,893	45,101,780	16,569,824	△ 854,255	235,063,242
2. 固定負債					
退職給付引当金	417,318,840	36,326,749	51,975,817		505,621,406
長期預り金	438,000	153,750			591,750
固定負債合計	417,756,840	36,480,499	51,975,817		506,213,156
負債合計	592,002,733	81,582,279	68,545,641	△ 854,255	741,276,398
III 正味財産の部					
1. 指定正味財産					
広島市出資金	503,600,000				503,600,000
寄付金	2,013,719				2,013,719
指定正味財産合計	505,613,719				505,613,719
(うち基本財産への充当額)	(100,000,000)				(100,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(405,613,719)				(405,613,719)
2. 一般正味財産	△ 353,306,731	108,361,316	△ 49,671,433		△ 294,616,848
(うち基本財産への充当額)	(12,000,000)				(12,000,000)
(うち特定資産への充当額)	(14,737,637)	(26,235,506)			(40,973,143)
正味財産合計	152,306,988	108,361,316	△ 49,671,433		210,996,871
負債及び正味財産合計	744,309,721	189,943,595	18,874,208	△ 854,255	952,273,269

3 正味財産増減計算書

正 味 財 产 增 減 計 算 書
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
I 一般正味財産増減の部			
1. 経常増減の部			
(1) 経常収益			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	100,250	100,250	0
基本財産受取利息振替額	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
綠化基金受取利息	91,916	91,916	0
綠化基金受取利息振替額	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	16,708	16,708	0
協会賞基金受取利息振替額	8,354	8,354	0
引当資産等受取利息	40,800	37,451	3,349
受取会費			
会員受取会費	431,000	459,000	△ 28,000
事業収益			
利用料金収益	162,097,770	186,554,220	△ 24,456,450
指定管理料収益	1,153,167,750	1,184,713,671	△ 31,545,921
維持補修業務等受託収益	919,805	919,856	△ 51
保護増殖業務受託収益	340,500	329,800	10,700
売店等売上収益	106,286,354	109,296,219	△ 3,009,865
売店等事業収益	6,666,869	6,222,146	444,723
実費徴収金収益	1,908,741	1,569,425	339,316
手数料収益	63,753	37,957	25,796
使用料収益	1,601,440	1,724,895	△ 123,455
受取補助金等			
受取協会運営等補助金	159,079,915	91,138,629	67,941,286
受取都市綠化フェア支援金	0	640,000	△ 640,000
受取動物管理助成金	410,291	459,000	△ 48,709
受取動物保護活動等助成金	332,000	368,000	△ 36,000
受取負担金			
受取負担金	263,550	306,340	△ 42,790
受取寄付金			
受取寄付金	808,955	2,069,640	△ 1,260,685
受取寄付金振替額	469,788	543,400	△ 73,612
雑収益			
受取利息	61,204	87,390	△ 26,186
雑収益	3,210,121	1,482,387	1,727,734
固定負債取崩益			
退職給付引当金取崩益	0	13,064,591	△ 13,064,591
経常収益計	1,602,576,644	1,606,440,055	△ 3,863,411

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
(2) 経常費用			
事業費			
給料	232,149,859	225,972,460	6,177,399
諸手当	167,533,187	157,799,944	9,733,243
報酬	127,366,986	132,316,522	△ 4,949,536
賞与引当金繰入額	30,253,180	30,638,119	△ 384,939
災害補償費	61,480	73,607	△ 12,127
賃金	67,301,600	79,964,051	△ 12,662,451
退職給付費用	28,226,674	27,454,102	772,572
福利厚生費	102,139,824	102,348,530	△ 208,706
仕入費	49,517,745	50,460,125	△ 942,380
食糧費	6,177	4,327	1,850
諸謝金	2,265,900	1,844,524	421,376
諸会費	764,285	749,756	14,529
報償費	550,703	546,358	4,345
旅費	907,815	626,494	281,321
通信運搬費	2,648,485	2,028,747	619,738
減価償却費	1,316,077	1,370,679	△ 54,602
消耗品費	110,168,041	92,044,818	18,123,223
器具備品購入費	7,879,362	794,960	7,084,402
原材料費	1,020,898	1,008,643	12,255
委託料	292,828,039	255,190,123	37,637,916
修繕費	95,268,621	55,894,691	39,373,930
工事請負費	0	543,400	△ 543,400
燃料費	33,522,472	22,154,668	11,367,804
光熱水費	168,841,825	174,463,573	△ 5,621,748
支払手数料	1,918,412	1,916,232	2,180
使用料及び賃借料	15,150,206	13,272,297	1,877,909
保険料	1,973,009	2,548,600	△ 575,591
租税公課	58,769,950	72,471,700	△ 13,701,750
支払負担金	1,528,893	790,293	738,600
支払補助金	843,100	957,300	△ 114,200
広報費	295,925	753,416	△ 457,491
雑費	60,400	25,808	34,592
固定資産除却損	0	4	△ 4
棚卸減耗損	6,407	64,062	△ 57,655
棚卸資産廃棄損	79,279	80,320	△ 1,041

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
管理費			
給料	16,178,400	18,268,371	△ 2,089,971
諸手当	9,874,219	11,437,797	△ 1,563,578
報酬	14,492,766	14,693,422	△ 200,656
賞与引当金繰入額	2,430,241	2,472,385	△ 42,144
賃金	7,107,764	3,245,930	3,861,834
退職給付費用	2,939,559	19,229,658	△ 16,290,099
福利厚生費	8,467,704	8,005,370	462,334
会議費	30,748	64,570	△ 33,822
諸謝金	231,000	440,000	△ 209,000
諸会費	200,480	258,180	△ 57,700
報償費	4,048	4,048	0
通信運搬費	877,007	944,557	△ 67,550
消耗品費	926,012	851,613	74,399
委託料	786,398	294,162	492,236
支払手数料	97,930	108,312	△ 10,382
使用料及び賃借料	11,821,439	11,885,597	△ 64,158
支払負担金	710,181	703,075	7,106
支払協賛金	40,000	40,000	0
経常費用計	1,680,380,712	1,602,120,300	78,260,412
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 77,804,068	4,319,755	△ 82,123,823
当期経常増減額	△ 77,804,068	4,319,755	△ 82,123,823
税引前当期一般正味財産増減額	△ 77,804,068	4,319,755	△ 82,123,823
法人税、住民税及び事業税	271,000	271,000	0
当期一般正味財産増減額	△ 78,075,068	4,048,755	△ 82,123,823
一般正味財産期首残高	△ 216,541,780	△ 220,590,535	4,048,755
一般正味財産期末残高	△ 294,616,848	△ 216,541,780	△ 78,075,068

(単位:円)

科 目	当 年 度	前 年 度	増 減
II 指定正味財産増減の部			
基本財産運用益			
基本財産受取利息	835,418	835,418	0
特定資産運用益			
緑化基金受取利息	3,363,392	3,363,392	0
協会賞基金受取利息	8,354	8,354	0
受取寄付金			
受取寄付金	439,050	906,715	△ 467,665
一般正味財産への振替額			
一般正味財産への振替額	△ 4,676,952	△ 4,750,564	73,612
当期指定正味財産増減額	△ 30,738	363,315	△ 394,053
指定正味財産期首残高	505,644,457	505,281,142	363,315
指定正味財産期末残高	505,613,719	505,644,457	△ 30,738
III 正味財産期末残高	210,996,871	289,102,677	△ 78,105,806

正味財産増減計算書内訳表
令和3年4月1日から令和4年3月31日まで

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
I 一般正味財産増減の部										
1. 経常増減の部										
(1) 経常収益										
基本財産運用益										
基本財産受取利息		100,250		100,250						100,250
基本財産受取利息振替額	83,542	751,876		835,418						835,418
特定資産運用益										
緑化基金受取利息	91,916			91,916						91,916
緑化基金受取利息振替額	3,363,392			3,363,392						3,363,392
協会賞基金受取利息	16,708			16,708						16,708
協会賞基金受取利息振替額	8,354			8,354						8,354
引当資産等受取利息					40,800		40,800			40,800
受取会費										
会員受取会費		431,000		431,000						431,000
事業収益										
利用料金収益	93,505,070			93,505,070		68,592,700	68,592,700			162,097,770
指定管理料収益	952,157,673			952,157,673		201,010,077	201,010,077			1,153,167,750
維持補修業務等受託収益	919,805			919,805						919,805
保護増殖業務受託収益	340,500			340,500						340,500
売店等売上収益					106,286,354		106,286,354			106,286,354
売店等事業収益					6,666,869		6,666,869			6,666,869
実費徴収金収益					1,908,741		1,908,741			1,908,741
手数料収益					63,753		63,753			63,753
使用料収益					1,601,440		1,601,440			1,601,440
受取補助金等										
受取協会運営等補助金								159,079,915		159,079,915
受取動物管理助成金	410,291			410,291						410,291
受取動物保護活動等助成金	332,000			332,000						332,000
受取負担金										
受取負担金		263,550		263,550						263,550
受取寄付金										
受取寄付金	808,955			808,955						808,955
受取寄付金振替額	469,788			469,788						469,788
雑収益										
受取利息	59,504			59,504	1,700		1,700			61,204
雑収益	107,833	1,583,013	6,782	1,697,628	254,354	235,400	489,754	1,876,994	△ 854,255	3,210,121
経常収益計	3,731,249	1,052,073,771	6,782	1,055,811,802	116,824,011	269,838,177	386,662,188	160,956,909	△ 854,255	1,602,576,644

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
(2) 経常費用										
事業費										
給料		219,164,874		219,164,874	12,984,985		12,984,985			232,149,859
諸手当		153,570,508	5,129,989	158,700,497	7,884,814	947,876	8,832,690			167,533,187
報酬	1,478,769	96,430,574		97,909,343	7,782,101	21,675,542	29,457,643			127,366,986
賞与引当金繰入額		26,917,213	625,480	27,542,693	1,937,708	772,779	2,710,487			30,253,180
災害補償費		61,480		61,480						61,480
賃金		50,858,899		50,858,899	10,820,044	5,622,657	16,442,701			67,301,600
退職給付費用		26,550,028		26,550,028	1,676,646		1,676,646			28,226,674
福利厚生費	237,793	87,967,080	2,861,662	91,066,535	5,898,716	5,174,573	11,073,289			102,139,824
仕入費					49,517,745		49,517,745			49,517,745
食糧費		6,177		6,177						6,177
諸謝金	365,800	1,887,700		2,253,500		12,400	12,400			2,265,900
諸会費		751,085		751,085	13,200		13,200			764,285
報償費	50,000	500,703		550,703						550,703
旅費		907,815		907,815						907,815
通信運搬費	65,954	2,346,687		2,412,641	129,249	106,595	235,844			2,648,485
減価償却費		59,372		59,372	1,256,705		1,256,705			1,316,077
消耗品費	704,083	106,036,558	24,960	106,765,601	982,081	2,420,359	3,402,440			110,168,041
器具備品購入費		7,879,362		7,879,362						7,879,362
原材料費		1,020,898		1,020,898						1,020,898
委託料		147,076,076		147,076,076	1,655,343	144,096,620	145,751,963			292,828,039
修繕費		72,952,651		72,952,651	765,563	21,550,407	22,315,970			95,268,621
燃料費		33,159,474		33,159,474	38,998	324,000	362,998			33,522,472
光熱水費		126,929,229		126,929,229	4,927,006	36,985,590	41,912,596			168,841,825
支払手数料	29,313	1,229,825		1,259,138	272,528	386,746	659,274			1,918,412
使用料及び賃借料		10,238,862	1,880	10,240,742	3,900,764	1,008,700	4,909,464			15,150,206
保険料		885,093	14,820	899,913	267,846	805,250	1,073,096			1,973,009
租税公課		48,789,641	39,500	48,829,141	4,904,508	5,890,556	10,795,064	△ 854,255		58,769,950
支払負担金	1,100,000	395,815		1,495,815	33,078		33,078			1,528,893
支払補助金		843,100		843,100						843,100
広報費		260,858		260,858	35,067		35,067			295,925
雑費		3,025		3,025	57,375		57,375			60,400
棚卸減耗損					6,407		6,407			6,407
棚卸資産廃棄損					79,279		79,279			79,279

(単位:円)

科 目	公益目的事業会計				収益事業等会計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
管理費										
給料								16,178,400		16,178,400
諸手当								9,874,219		9,874,219
報酬								14,492,766		14,492,766
賞与引当金繰入額								2,430,241		2,430,241
賃金								7,107,764		7,107,764
退職給付費用								2,939,559		2,939,559
福利厚生費								8,467,704		8,467,704
会議費								30,748		30,748
諸謝金								231,000		231,000
諸会費								200,480		200,480
報償費								4,048		4,048
通信運搬費								877,007		877,007
消耗品費								926,012		926,012
委託料								786,398		786,398
支払手数料								97,930		97,930
使用料及び賃借料								11,821,439		11,821,439
支払負担金								710,181		710,181
支払協賛金								40,000		40,000
経常費用計	4,874,812	1,224,837,562	8,698,291	1,238,410,665	117,827,756	247,780,650	365,608,406	77,215,896	△ 854,255	1,680,380,712
評価損益等調整前当期経常増減額	△ 1,143,563	△ 172,763,791	△ 8,691,509	△ 182,598,863	△ 1,003,745	22,057,527	21,053,782	83,741,013		△ 77,804,068
当期経常増減額	△ 1,143,563	△ 172,763,791	△ 8,691,509	△ 182,598,863	△ 1,003,745	22,057,527	21,053,782	83,741,013		△ 77,804,068
他会計振替前当期一般正味財産増減額	△ 1,143,563	△ 172,763,791	△ 8,691,509	△ 182,598,863	△ 1,003,745	22,057,527	21,053,782	83,741,013		△ 77,804,068
他会計振替額	1,052,712	135,701,521	8,688,137	145,442,370	△ 11,086,009	△ 49,103,361	△ 60,189,370	△ 85,253,000		0
税引前当期一般正味財産増減額	△ 90,851	△ 37,062,270	△ 3,372	△ 37,156,493	△ 12,089,754	△ 27,045,834	△ 39,135,588	△ 1,511,987		△ 77,804,068
法人税、住民税及び事業税					271,000		271,000			271,000
当期一般正味財産増減額	△ 90,851	△ 37,062,270	△ 3,372	△ 37,156,493	△ 12,360,754	△ 27,045,834	△ 39,406,588	△ 1,511,987		△ 78,075,068
一般正味財産期首残高	64,713,728	△ 382,863,119	1,999,153	△ 316,150,238	126,038,510	21,729,394	147,767,904	△ 48,159,446		△ 216,541,780
一般正味財産期末残高	64,622,877	△ 419,925,389	1,995,781	△ 353,306,731	113,677,756	△ 5,316,440	108,361,316	△ 49,671,433		△ 294,616,848

(単位:円)

科 目	公 益 目 的 事 業 会 計				収 益 事 業 等 会 計			法人会計	内部取引等消去	合 計
	公1 (緑のまちづくり)	公2 (動物・植物・昆虫)	共通 (事業運営)	公益計	収1 (売店の運営など)	他1 (公園・公園施設)	収益等計			
II 指定正味財産増減の部	基本財産運用益									
	基本財産受取利息	83,542	751,876	835,418						835,418
	特定資産運用益									
	緑化基金受取利息	3,363,392		3,363,392						3,363,392
	協会賞基金受取利息		8,354	8,354						8,354
	受取寄付金									
	受取寄付金		439,050	439,050						439,050
	一般正味財産への振替額									
	一般正味財産への振替額	△ 3,455,288	△ 1,221,664	△ 4,676,952						△ 4,676,952
	当期指定正味財産増減額		△ 30,738	△ 30,738						△ 30,738
III 正味財産期末残高	指定正味財産期首残高	413,600,000	92,044,457	505,644,457						505,644,457
	指定正味財産期末残高	413,600,000	92,013,719	505,613,719						505,613,719
	478,222,877	△ 327,911,670	1,995,781	152,306,988	113,677,756	△ 5,316,440	108,361,316	△ 49,671,433		210,996,871

5 財務諸表に対する注記

財務諸表に対する注記

1. 重要な会計方針

- (1) 有価証券の評価基準及び評価方法
満期保有目的の債券・・・償却原価法（定額法）によっている。
- (2) 棚卸資産の評価基準及び評価方法
商品・・・・・・・・先入先出法による原価法によっている。（時価が取得価額よりも下落した場合には、時価をもって貸借対照表価額とする。）
- (3) 固定資産の減価償却の方法
定額法によっている。
- (4) 引当金の計上基準
貸倒引当金・・・・・・債権については回収可能性に問題がないため、貸倒引当金は計上していない。
賞与引当金・・・・・・職員の賞与の支払いに備えて、賞与支給見込額の当事業年度負担額を計上している。
退職給付引当金・・・・・・職員の退職給付に備えるため、期末退職給与の自己都合要支給額に相当する金額を計上している。
- (5) 消費税等の会計処理
税込方式によっている。

2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高

基本財産及び特定資産の増減額及びその残高は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	—	—	112,000,000
小　計	112,000,000	—	—	112,000,000
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	—	—	413,634,328
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	—	—	3,000,000
退職給付引当資産	34,866,103	1,460,646	—	36,326,749
減価償却引当資産	25,229,504	1,256,705	—	26,486,209
備品等購入資金積立資産	1,452,606	—	—	1,452,606
みどり生きものサポーター募金積立資産	2,044,457	58,022	88,760	2,013,719
小　計	480,226,998	2,775,373	88,760	482,913,611
合　計	592,226,998	2,775,373	88,760	594,913,611

3. 基本財産及び特定資産の財源等の内訳

基本財産及び特定資産の財源等の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

科 目	当期末残高	(うち指定正味財産からの充当額)	(うち一般正味財産からの充当額)	(うち負債に対応する額)
基本財産				
投資有価証券	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
小　計	112,000,000	(100,000,000)	(12,000,000)	(—)
特定資産				
緑化基金積立資産	413,634,328	(402,600,000)	(11,034,328)	(—)
広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産	3,000,000	(1,000,000)	(2,000,000)	(—)
退職給付引当資産	36,326,749	(—)	(—)	(36,326,749)
減価償却引当資産	26,486,209	(0)	(26,486,209)	(—)
備品等購入資金積立資産	1,452,606	(0)	(1,452,606)	(—)
みどり生きものサポーター募金積立資産	2,013,719	(2,013,719)	(0)	(—)
小　計	482,913,611	(405,613,719)	(40,973,143)	(36,326,749)
合　計	594,913,611	(505,613,719)	(52,973,143)	(36,326,749)

4. 満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益

満期保有目的の債券の内訳並びに帳簿価額、時価及び評価損益は、次のとおりである。

(単位：円)

種類及び銘柄	帳簿価額	時価	評価損益
第368回大阪府公募公債	527,980,189	531,643,200	3,663,011
第327回利付国債	899,963	905,670	5,707
合 計	528,880,152	532,548,870	3,668,718

5. 補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高

補助金等の内訳並びに交付者、当期の増減額及び残高は、次のとおりである。

(単位：円)

補助金等の名称	交付者	前期末残高	当期増加額	当期減少額	当期末残高	貸借対照表上の記載区分
補助金 受取協会運営等補助金 (広島市補助金)	広島市	0	159,079,915	159,079,915	0	—
助成金 受取動物管理助成金 (公社)日本動物園水族館協会	(公社)日本動物園水族館協会	0	410,291	410,291	0	—
受取動物保護活動等助成金 (公社)日本動物園水族館協会	(公社)日本動物園水族館協会	0	332,000	332,000	0	—
合 計		0	159,822,206	159,822,206	0	

6. 指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳

指定正味財産から一般正味財産への振替額の内訳は、次のとおりである。

(単位：円)

内 容	金 額
経常収益への振替額	
基本財産受取利息の振替額	835,418
特定資産受取利息の振替額	3,371,746
受取寄付金の振替額	469,788
合 計	4,676,952

7. 関連当事者との取引の内容

関連当事者との取引内容は、次のとおりである。

(単位：円)

属 法 人 等 の 名 称	法 人 等 の 名 称	住 所	資 産 総 額	事業 の 内 容 又 は 職 業	議 決 權 の 所 有 割 合	関 係 内 容		取引の内容	取引金額	科目	期末 残高
						役員の兼務等	事業上の関係				
当 法 人 を 支 配 す る 法 人	当 法 人 を 支 配 す る 法 人	广 岛 市	中 区	理事 15名中 市職員 2名 元市職員 4名	—	市公共事業の受託	広島市の公園及び公園施設の指定管理	1,153,167,750	—	0	
							広島市の公園及び公園施設の維持補修等	919,805	—	0	
							協会事業に対する補助	159,079,915	—	0	

(取引条件及び取引条件の決定方針等)

剩余额が生じた場合において、指定管理については毎年度又は指定管理期間満了時に精算を行い返還することとし、受託及び補助については毎年度精算を行い返還することとしている。

6 附属明細書

1. 基本財産及び特定資産の明細

財務諸表に対する注記の「2. 基本財産及び特定資産の増減額及びその残高」において記載しているため省略する。

2. 引当金の明細

(単位：円)

科 目	期首残高	当期増加額	当期減少額		期末残高
			目的使用	その他	
賞与引当金	33,110,504	32,683,421	33,110,504	—	32,683,421
退職給付引当金	474,911,173	30,710,233	—	—	505,621,406

財産目録

令和4年3月31日現在

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使用目的等	金額
(流動資産)				
	現金 預金	手元保管 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 広島銀行五日市八幡支店 広島銀行福田支店 振替口座 ゆうちょ銀行日浦郵便局 売店業務等委託先業者ほか 広島東税務署 商品	運転資金として 運転資金として 運転資金として 販売手数料等 令和3年度消費税及び地方消費税の未収額 来園者等への販売用	10,991,273 116,450,810 108,280,331 81,876,978 12,626,437 1,137,592 2,641,939 9,021,900 9,027,645 352,054,905
流動資産合計				
(固定資産)				
基本財産	投資有価証券	第368回大阪府公募公債	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益のうち91.1%は動物公園等の運営事業、8.9%は緑のまちづくり事業の財源として使用している。	112,000,000
特定資産	緑化基金積立資産 広島市みどり生きもの協会賞基金積立資産 退職給付引当資産 減価償却引当資産 備品等購入資金積立資産 みどり生きものサポート基金積立資産	投資有価証券 第368回大阪府公募公債 第327回利付国債 投資有価証券 第368回大阪府公募公債 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 普通預金 広島銀行本店営業部 広島銀行安支店 広島銀行五日市八幡支店 普通預金 広島銀行本店営業部 普通預金 広島銀行安支店 広島銀行五日市八幡支店 広島銀行福田支店	公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。 公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。 公益目的保有財産であり、満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業の財源として使用している。 収益事業従事職員に対する退職金の支払いに備え管理している預金 同上 器具備品等の更新に備え管理している預金 同上 同上 器具備品等の取得に備え管理している預金 魅力ある施設づくりのための寄付金を管理している預金 同上 同上 収益事業における販売用植物の展示・保管用 収益事業における飲食物販売用 公益目的保有財産であり、公益目的事業共通の用に供している。 収益事業用車両運搬具 公益目的保有財産であり、動物公園等の運営事業の用に供している。 収益事業用器具備品 収益事業に係る電話回線（1回線） 満期保有目的で保有し、運用益を緑のまちづくり事業等の財源として使用している。	412,736,000 898,328 3,000,000 34,866,103 1,460,646 25,364,774 623,465 497,970 1,452,606 1,714,660 98,679 200,380 2 798,688 1 4 944,624 3,240,626 74,984 244,189 1,635
その他固定資産	建物 構築物 車両運搬具 器具備品 電話加入権 投資有価証券	植物公園 温室及び倉庫62.3m ² 安佐動物公園 仮設売店 9.7m ² 普通乗用車1台 小型貨物等2台、スクーター2台 デジタルカメラ等21点 冷蔵庫等80点 安佐動物公園 管理事務所 第368回大阪府公募公債 第327回利付国債	同上	600,218,364 952,273,269
固定資産合計				
資産合計				

(単位：円)

貸借対照表科目		場所・物量等	使 用 目 的 等	金 額
(流動負債)	未払金	維持管理業務等委託先業者ほか 広島東税務署	委託料等の未払額	180,587,675
	未払消費税等	広島東税務署	令和3年度消費税及び地方消費税の未払額	6,004,600
	未払法人税等	広島動物愛好会等会員	令和3年度法人税等の未払額	271,000
	前受金	商品仕入先業者	令和4年度分前受会費	33,000
	買掛金	広島東税務署、厚生労働省年金局、 広島市等	売店等における商品仕入れの買掛額	6,479,510
	預り金	源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険 料、住民税等	源泉所得税、健康保険料及び厚生年金保険 料、住民税等	9,004,036
	賞与引当金	職員に対するもの	職員113名に対する賞与の支払いに備え たもの	32,683,421
流動負債合計				235,063,242
(固定負債)	退職給付引当金	職員に対するもの	職員66名に対する退職金の支払いに備え たもの	505,621,406
	長期預り金	維持管理業務等委託先業者	契約保証金	591,750
固定負債合計				506,213,156
負債合計				741,276,398
正味財産				210,996,871

監査報告書

令和4年5月16日

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
理事長 及川 享様

公益財団法人広島市みどり生きもの協会
監事 神田 敏治
公益財団法人広島市みどり生きもの協会
監事 久光 章

私たち監事は、令和3年4月1日から令和4年3月31日までの事業年度の理事の職務の執行を監査いたしました。その方法及び結果について、次のとおり報告いたします。

1 監査の方法及びその内容

各監事は、理事及び使用人等と意思疎通を図り、情報の収集及び監査の環境の整備に努めるとともに、理事会その他重要な会議に出席し、理事及び使用人等からその職務の執行状況について報告を受け、必要に応じて説明を求め、重要な決裁書類等を閲覧し、業務及び財産の状況を調査いたしました。以上のことから、当該事業年度に係る事業報告について検討いたしました。

さらに、会計帳簿及びこれに関する資料の調査を行い、当該事業年度に係る計算書類（貸借対照表及び正味財産増減計算書）及びその附属明細書並びに財産目録について検討いたしました。

2 監査意見

(1) 事業報告等の監査結果

- 一 事業報告は、法令及び定款に従い、法人の状況を正しく示しているものと認めます。
- 二 理事の職務の執行に関する不正の行為又は法令若しくは定款に違反する重大な事実は認められません。

(2) 計算書類及びその附属明細書並びに財産目録の監査結果

計算書類及びその附属明細書並びに財産目録は、法人の財産及び損益の状況を全ての重要な点において適正に示しているものと認めます。

以上

